

弘前市公共施設個別施設計画

2021（令和3）年 3月策定

2021（令和3）年12月改訂

2023（令和5）年 4月改訂

2023（令和5）年12月変更

2024（令和6）年12月変更

弘前市

目次

第1章 弘前市公共施設個別施設計画の概要

1. 策定の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	3
4. 対象施設	3
5. 対策の優先順位の考え方	10
6. 計画の見方	11

第2章 弘前市公共施設等総合管理計画の概要

1. 計画策定の目的	15
2. 対象	15
3. 計画期間	15
4. 公共施設の状況	15
5. 老朽化の状況	18
6. 今後の更新費用の推計	19
7. 施設管理の基本方針	20
8. 『7. 施設管理の基本方針』に基づく今後の更新費用のシミュレーション	21

第3章 各施設の方針

1. 計画期間における全体像	22
----------------	-------	----

2. 市民文化系施設	23
3. 社会教育系施設	35
4. スポーツ・レクリエーション系施設	48
5. 産業系施設	58
6. 学校教育系施設	60
7. 子育て支援施設	64
8. 保健・福祉施設	74
9. 公営住宅	83
10. 行政系施設	84
11. 医療施設	120
12. 農業系施設	122
13. その他	126

第 1 章 弘前市公共施設個別施設計画の概要

1. 策定の背景と目的

本市では、人口増加が続いていた昭和 50 年代までに、道路、橋りょう、上下水道、公営住宅、文化教育施設、福祉施設など、多くの公共施設を整備してきました。現在、これらの公共施設は老朽化が進み、間もなく建替や大規模改修の時期を迎えることから、修繕や更新が集中し、多額の費用を確保することが必要となると予測されます。今後、年々進んでいく人口減少、少子高齢化に伴い、社会保障に係る経費の増加や税収の減少など厳しい財政状況が見込まれる中で、どのようにして適正に公共施設を維持管理・更新していくかが課題となっています。

一方で、国においては、「インフラ長寿命化基本計画」（2013（平成 25）年 11 月）を策定し、インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進しています。さらに、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（2014（平成 26）年 4 月）により、各地方公共団体に対して、公共施設等総合管理計画の策定要請がありました。

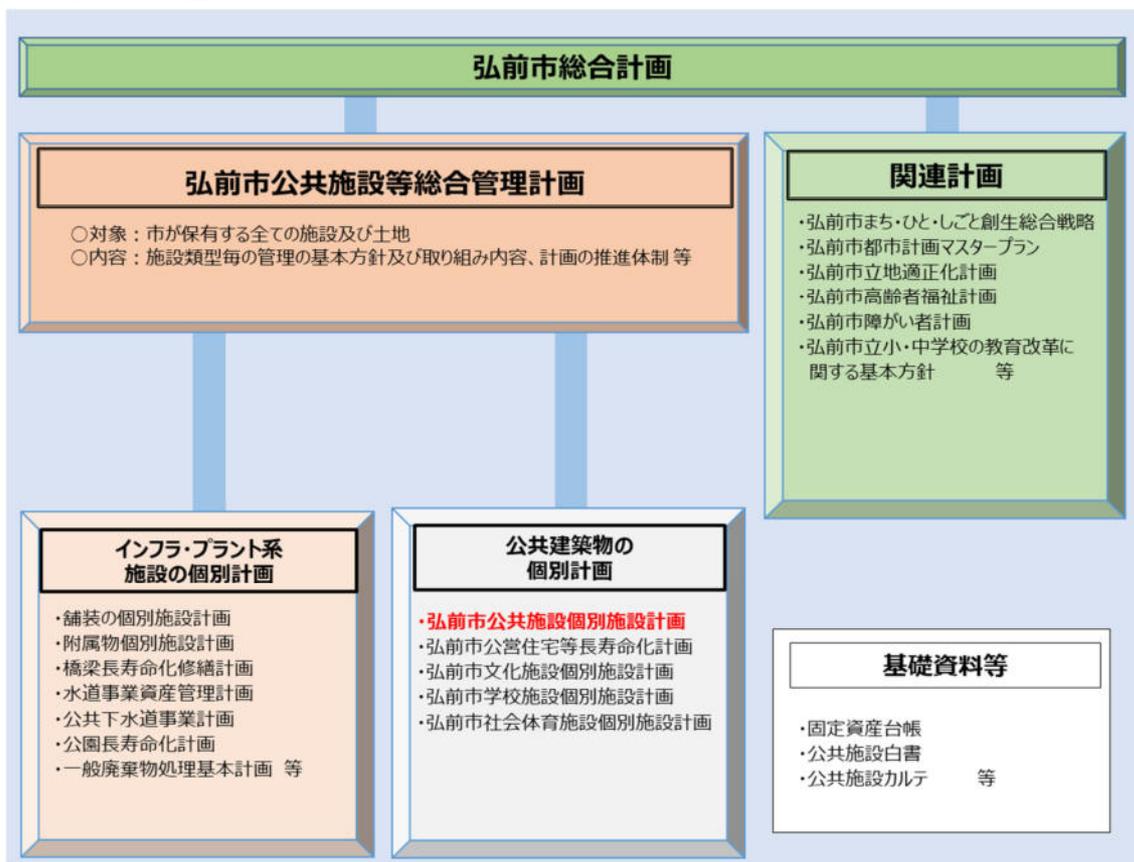
そのため、本市では、公共施設の老朽化や人口構造の変化等により厳しさが増す財政状況の中、インフラ・プラント系施設を含む公共施設全体を適切な維持管理のもと、長期的な視点で有効に活用しながら、市民サービスの維持・向上を図るための考え方や方策として、「弘前市公共施設等総合管理計画」（2016（平成 28）年 2 月）（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。また、総合管理計画に基づき 2020（令和 2）年度までの行動計画である第 1 期実施計画（2018（平成 30）年 3 月）を策定し、「施設総量の適正化・適正配置」、「施設の長寿命化」、「維持管理費の縮減」、「歴史的建築物の有効活用」といった 4 つの視点から取り組み内容を整理しました。

総合管理計画において、個別施設の対応方針を定める計画として「個別施設計画」の策定を示しており、この度、個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の内容と実施時期を定めた「弘前市公共施設個別施設計画」（以下「個別施設計画」という。）を策定しました。

2. 計画の位置づけ

個別施設計画は、総合管理計画に掲げた取り組みを着実に進めていくとともに、個別施設の具体的な対策を示した実施計画として位置づけます。また、個別施設計画を2020（令和2）年度までの行動計画である第1期実施計画の後継計画と位置付けます。

<個別施設計画の位置づけ>



<総合管理計画との関係性>



3. 計画期間

本計画期間は、総合管理計画の計画期間である2015（平成27）年度から2035（令和17）年度までの概ね20年間のうち、2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間とします。

なお、本計画の中間年である2025（令和7）年度を目途に見直しを行います。また、社会経済情勢の大きな変化や、関連する計画の策定・変更など、条件が大きく変わった時点で、適宜必要な見直しを行います。

4. 対象施設

すべての公共建築物を対象とします。ただし、倉庫・物置・便所等として利用している施設やインフラ・プラント系施設、普通財産、歴史的建築物、企業会計の施設については対象から除外します。

また、以下公共建築物については施設ごとに個別施設計画を策定していることから、本計画には掲載しておりません。

①学校施設

主な施設……小学校・中学校

計画の名称…弘前市学校施設個別施設計画（2024（令和6）年度に変更）

②公営住宅等

主な施設……市営住宅

計画の名称…弘前市公営住宅等長寿命化計画（2023（令和5）年度に変更）

③文化施設

主な施設……市民会館・文化センター等

計画の名称…弘前市文化施設個別施設計画（2020（令和2）年度に変更）

④スポーツ施設

主な施設……市民体育館・プール等

計画の名称…弘前市社会体育施設個別施設計画（2023（令和5）年度に変更）

本計画の対象施設一覧

施設分類	NO	施設名称	延べ面積 (㎡)
市民文化系施設	1	清水交流センター	1,331.84
市民文化系施設	2	宮川交流センター	1,437.75
市民文化系施設	3	ワークトーク弘前	641.84
市民文化系施設	4	サンライフ弘前	2,206.89
市民文化系施設	5	町田地区ふれあいセンター	960.38
市民文化系施設	6	三省地区交流センター	433.09
市民文化系施設	7	新和地区体育文化交流センター	1,212.74
市民文化系施設	8	千年交流センター	1,316.91
市民文化系施設	9	裾野地区体育文化交流センター	1,527.81
市民文化系施設	10	岩木常盤野コミュニティセンター	197.64
市民文化系施設	11	岩木嶽さわやかホール	359.64
市民文化系施設	12	昴地区集会所	368.70
市民文化系施設	13	北辰学区高杉ふれあいセンター	1,438.74
市民文化系施設	14	泉野多目的コミュニティ施設	499.26
市民文化系施設	15	国吉農業多目的集会施設	259.19
市民文化系施設	16	館後地区農作業準備休養施設	149.10
市民文化系施設	17	乳井地区多目的集会施設	390.03
市民文化系施設	18	山越農作業準備休憩施設	91.09
市民文化系施設	19	山田竜ヶ平農作業準備休憩施設	38.09
市民文化系施設	20	伝統産業会館	503.87
市民文化系施設	21	駅前南地区都市改造記念会館	164.36
市民文化系施設	22	駅前地区都市改造記念会館	288.66
市民文化系施設	23	相馬ふれあい館	467.62
市民文化系施設	24	勤労青少年ホーム	1,122.88
社会教育系施設	25	中央公民館	3,787.77
社会教育系施設	26	中央公民館岩木館	2,500.88
社会教育系施設	27	中央公民館相馬館	491.97
社会教育系施設	28	中央公民館相馬館長慶閣	935.40
社会教育系施設	29	裾野公民館	1,077.09
社会教育系施設	30	和徳公民館	313.20
社会教育系施設	31	清水公民館	525.91
社会教育系施設	32	石川公民館	865.37
社会教育系施設	33	堀越公民館	525.91

施設分類	NO	施設名称	延べ面積 (㎡)
社会教育系施設	34	千年公民館	604.07
社会教育系施設	35	船沢公民館	765.96
社会教育系施設	36	新和公民館	497.27
社会教育系施設	37	藤代公民館	389.11
社会教育系施設	38	東目屋公民館	2,134.00
社会教育系施設	39	高杉公民館	35.00
社会教育系施設	40	東部公民館	1,453.36
社会教育系施設	41	弘前図書館	4,922.77
社会教育系施設	42	こども絵本の森	264.20
社会教育系施設	43	岩木図書館	399.00
社会教育系施設	44	相馬ライブラリー	135.81
社会教育系施設	45	郷土文学館	594.26
社会教育系施設	46	山車展示館	680.01
社会教育系施設	47	博物館	2,279.59
社会教育系施設	48	鳴海要記念陶房館	274.81
社会教育系施設	49	弘前れんが倉庫美術館	3,089.59
社会教育系施設	50	高岡の森弘前藩歴史館	1,636.56
社会教育系施設	51	学習情報館	3,074.46
スポーツ・レクリエーション系施設	52	まちなか情報センター	482.20
スポーツ・レクリエーション系施設	53	観光館	6,124.14
スポーツ・レクリエーション系施設	54	岩木トレイルセンター（お山の駅 岩木さんぼ館）	233.28
スポーツ・レクリエーション系施設	55	星と森のロマンピア	7,568.75
スポーツ・レクリエーション系施設	56	国民宿舎いわき荘	861.51
スポーツ・レクリエーション系施設	57	岩木総合交流ターミナル（アソベの森いわき荘）	4,953.04
スポーツ・レクリエーション系施設	58	岩木山桜林公園	313.76
スポーツ・レクリエーション系施設	59	ビューロッジ四季彩	787.65
スポーツ・レクリエーション系施設	60	御所温泉	951.22
スポーツ・レクリエーション系施設	61	こどもの森	244.95
スポーツ・レクリエーション系施設	62	高長根レクリエーションの森	273.65
スポーツ・レクリエーション系施設	63	弥生いこいの広場	1,931.67
スポーツ・レクリエーション系施設	64	少年野外研修場	113.67
スポーツ・レクリエーション系施設	65	高長根スキー場	72.49
産業系施設	66	弘前職業能力開発校	1,332.00
学校教育系施設	67	教育センター	1,304.18
学校教育系施設	68	東部学校給食センター	2,916.14

施設分類	NO	施設名称	延べ面積 (㎡)
学校教育系施設	69	西部学校給食センター	4,513.32
学校教育系施設	70	幼児ことばの教室	558.50
子育て支援施設	71	みやぞの児童センター	499.80
子育て支援施設	72	北児童センター	433.52
子育て支援施設	73	豊田児童センター	361.87
子育て支援施設	74	三岳児童センター	307.87
子育て支援施設	75	千年児童センター	478.84
子育て支援施設	76	致遠児童センター	417.45
子育て支援施設	77	西部児童センター	305.35
子育て支援施設	78	東部児童センター	730.62
子育て支援施設	79	岩木児童センター	485.95
子育て支援施設	80	進修児童館	187.15
子育て支援施設	81	堀越児童館	236.00
子育て支援施設	82	大和沢児童館	274.10
子育て支援施設	83	三省児童館	262.67
子育て支援施設	84	東目屋児童館	279.80
子育て支援施設	85	船沢児童館	299.77
子育て支援施設	86	自得児童館	272.20
子育て支援施設	87	新和児童館	274.10
子育て支援施設	88	石川児童館	187.97
子育て支援施設	89	大沢児童館	187.15
子育て支援施設	90	薬師堂児童館	185.49
子育て支援施設	91	城東児童館	299.77
子育て支援施設	92	駅前こどもの広場（遊び場）	165.10
子育て支援施設	93	放課後児童健全育成事業実施施設（堀越なかよし会）	371.86
保健・福祉施設	94	城西老人福祉センター	609.59
保健・福祉施設	95	老人福祉センター瑞風園	809.70
保健・福祉施設	96	老人福祉センター祥風園	498.34
保健・福祉施設	97	生きがいセンター	583.52
保健・福祉施設	98	保健センター	2,180.98
保健・福祉施設	99	岩木保健福祉センター	1,768.76
保健・福祉施設	100	障がい福祉プラザ	481.65
保健・福祉施設	101	弥生荘	2,873.16
保健・福祉施設	102	弥生学園	2,521.80
保健・福祉施設	103	ひまわり荘	711.44

施設分類	NO	施設名称	延べ面積 (㎡)
保健・福祉施設	104	社会福祉センター	1,997.91
保健・福祉施設	105	屋内ゲートボール場すばく弘前	1,183.68
行政系施設	106	本庁舎	22,916.68
行政系施設	107	ヒロロスクエア	5,525.11
行政系施設	108	埋蔵文化財整理保管施設	1,782.40
行政系施設	109	道路維持課事務所	2,212.51
行政系施設	110	緑の相談所	1,186.22
行政系施設	111	城東分室	50.80
行政系施設	112	岩木庁舎	5,544.42
行政系施設	113	相馬庁舎	1,023.31
行政系施設	114	東目屋出張所	197.00
行政系施設	115	船沢出張所	61.97
行政系施設	116	高杉出張所	120.79
行政系施設	117	裾野出張所	15.66
行政系施設	118	新和出張所	193.41
行政系施設	119	石川出張所	97.94
行政系施設	120	南地区団 第1分団消防屯所	85.29
行政系施設	121	新町地区 コミュニティ消防センター	93.56
行政系施設	122	紺屋町地区 コミュニティ消防センター	168.10
行政系施設	123	南地区団 第2.3分団消防屯所	136.21
行政系施設	124	南地区団 第5分団消防屯所	53.68
行政系施設	125	東地区 コミュニティ消防センター	72.68
行政系施設	126	北地区団 第1.2分団消防屯所	144.32
行政系施設	127	小沢地区 コミュニティ消防センター	91.91
行政系施設	128	清水地区団 第4分団消防屯所	84.67
行政系施設	129	下湯口地区 コミュニティ消防センター	88.57
行政系施設	130	和徳地区団 第1分団消防屯所	89.99
行政系施設	131	豊田地区 第1コミュニティ消防センター	100.56
行政系施設	132	福田地区 コミュニティ消防センター	89.75
行政系施設	133	豊田地区 第2コミュニティ消防センター	82.80
行政系施設	134	堀越地区 コミュニティ消防センター	83.64
行政系施設	135	門外地区 コミュニティ消防センター	87.78
行政系施設	136	清水森地区 コミュニティ消防センター	86.12
行政系施設	137	松木平地区 コミュニティ消防センター	85.28
行政系施設	138	千年地区団 第4分団消防屯所	88.69

施設分類	NO	施設名称	延べ面積 (㎡)
行政系施設	139	大和沢地区 コミュニティ消防センター	89.13
行政系施設	140	千年地区団 第1分団消防屯所	89.99
行政系施設	141	原ヶ平地区 コミュニティ消防センター	86.25
行政系施設	142	千年地区団 第6分団消防屯所	89.97
行政系施設	143	土堂地区 コミュニティ消防センター	88.18
行政系施設	144	中崎地区 コミュニティ消防センター	86.11
行政系施設	145	藤代地区団 第4分団消防屯所	89.97
行政系施設	146	国吉地区 コミュニティ消防センター	85.75
行政系施設	147	桜庭地区 コミュニティ消防センター	86.10
行政系施設	148	東目屋地区 コミュニティ消防センター	80.60
行政系施設	149	船沢地区団 第1分団消防屯所	77.83
行政系施設	150	船沢地区 コミュニティ消防センター	81.14
行政系施設	151	三ツ森地区 コミュニティ消防センター	88.81
行政系施設	152	細越地区 コミュニティ消防センター	86.94
行政系施設	153	折笠地区 コミュニティ消防センター	85.29
行政系施設	154	船沢地区団 第2分団消防屯所	89.99
行政系施設	155	前坂地区 コミュニティ消防センター	87.35
行政系施設	156	高杉地区団 第1分団消防屯所	87.77
行政系施設	157	糠坪地区 コミュニティ消防センター	89.99
行政系施設	158	檜木地区 コミュニティ消防センター	86.54
行政系施設	159	泉田地区 コミュニティ消防センター	86.94
行政系施設	160	鬼沢地区 コミュニティ消防センター	186.73
行政系施設	161	大貝地区 コミュニティ消防センター	86.12
行政系施設	162	裾野地区団 第5分団消防屯所	89.97
行政系施設	163	新和地区団 第6分団消防屯所	53.82
行政系施設	164	新和地区団 第1分団消防屯所	89.98
行政系施設	165	種市地区 コミュニティ消防センター	86.12
行政系施設	166	新和地区団 第3分団消防屯所	86.11
行政系施設	167	新和地区団 第5分団消防屯所	89.99
行政系施設	168	石川地区 第1コミュニティ消防センター	84.46
行政系施設	169	石川地区 第2コミュニティ消防センター	84.36
行政系施設	170	乳井地区 コミュニティ消防センター	89.42
行政系施設	171	石川地区団 第4分団消防屯所	55.90
行政系施設	172	小金崎地区 コミュニティ消防センター	93.56
行政系施設	173	岩木南地区団 駒越分団消防屯所	66.12

施設分類	NO	施設名称	延べ面積 (㎡)
行政系施設	174	岩木南地区団 真土分団消防屯所	89.99
行政系施設	175	岩木南地区団 烏井野分団消防屯所	64.80
行政系施設	176	岩木南地区団 兼平分団消防屯所	64.00
行政系施設	177	岩木南地区団 一町田分団消防屯所	63.18
行政系施設	178	熊嶋地区 コミュニティ消防センター	64.80
行政系施設	179	岩木東地区団 第1分団消防屯所	87.48
行政系施設	180	八幡地区 コミュニティ消防センター	64.80
行政系施設	181	岩木東地区団 愛宕分団消防屯所	28.00
行政系施設	182	鼻和地区 コミュニティ消防センター	64.80
行政系施設	183	岩木西地区団 五代分団消防屯所	72.86
行政系施設	184	岩木西地区団 宮地分団消防屯所	64.80
行政系施設	185	岩木西地区団 新岡分団消防屯所	64.80
行政系施設	186	岩木西地区団 葛原分団消防屯所	89.97
行政系施設	187	岩木西地区団 新法師分団消防屯所	89.97
行政系施設	188	岩木西地区団 百沢分団消防屯所	33.05
行政系施設	189	岩木西地区団 高岡分団消防屯所	46.37
行政系施設	190	岩木西地区団 常盤野分団消防屯所	89.97
行政系施設	191	湯口・黒滝地区 コミュニティ消防センター	84.07
行政系施設	192	相馬地区団 第3分団消防屯所	89.97
行政系施設	193	紙漉沢地区 コミュニティ消防センター	79.48
行政系施設	194	相馬地区団 第1分団消防屯所	79.48
行政系施設	195	船沢地区団 第4分団消防屯所	82.64
行政系施設	196	相馬地区団 第4分団黒滝機械置場	26.40
行政系施設	197	相馬地区団 第3分団水木在家機械置場	26.00
行政系施設	198	相馬地区団 第1分団沢田機械置場	26.40
行政系施設	199	相馬地区団 第2分団坂市機械置場	26.50
行政系施設	200	藤代地区団 第2分団消防屯所	284.02
医療施設	201	旧弘前市立病院	13,697.56
農業系施設	202	小栗山農村交流公園	149.06
農業系施設	203	相馬昴農園	273.79
農業系施設	204	相馬エビ等養殖施設	824.32
農業系施設	205	りんご公園	1,924.08
その他	206	弘前市斎場	1,629.32

5. 対策の優先順位の考え方

施設を適切に維持管理していくためには、適切な時期に整備を行っていく必要があります。しかし、施設の老朽化や人口構造の変化等により厳しさが増す財政状況においては、すべての整備を行っていくことは困難であることから、優先すべき施設や対策内容を決定する必要があります。本市においては、以下の考え方に基づき総合的に優先順位を判断します。なお、別途個別施設計画等を策定している施設については、それぞれの計画に基づき対策を実施します。

(1) 施設情報に基づく基準

施設情報	基準内容
健全度	安全性の観点から、施設の健全度※が低い施設は優先的に対策を実施します ※本計画 12 ページの考え方に基づき算出した健全度
役割	市民生活の基盤となる施設（庁舎や斎場）や指定避難所や屯所など災害時の拠点となる施設、民間を含めて市内に代替となる施設がない施設などは優先的に対策を実施します
利用状況	市内外から広く利用されている施設や稼働率の高い施設は優先的に対策を実施します

(2) 整備内容に基づく基準

整備内容	実施時期
法定点検等の結果に基づき実施する是正	速やかに実施します
修繕	計画的に実施します
設備改修工事	築後 20～25 年を目途に実施します
大規模改修工事	築後 35～40 年を目途に実施します
解体・除却工事	施設の廃止または危険と判断された時期に実施します
改築（建替）工事	基本的に単独では行わず、集約化・複合化の場合のみ実施します

6. 計画の見方

「第3章 各施設の方針」に記載している各項目の見方は以下のとおりとなります。

(1) 施設概要について

施設名称	主な用途	施設概要					劣化状況簡易評価							
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年) ①	法定耐用年限 (年) ②	屋根 屋上	外壁	内部 仕上げ ③	電気 設備	機械 設備	健全度 (点) ④
清水交流センター	コミュニティセンター	大開二丁目1-2	第四中	RC造	1,331.84	1994	47	2041	A	B	B	B	B	77

①法定耐用年数

財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和四十年三月三十一日大蔵省令第十五号）」に定める施設の構造・用途毎の耐用年数を記載しています。

②法定耐用年限

①の法定耐用年数を迎える年を記載しています。

③劣化状況簡易評価

建築基準法第12条に基づく定期点検（12条点検）や日常点検結果等をもとに、各施設の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5つの部位の劣化状況について、A、B、C、Dの4段階で簡易的に評価しています。高所等のため、点検が困難な部位については－（ハイフン）で記載しています。

簡易評価の考え方は以下のとおりです。

【屋根・屋上、外壁の評価基準】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化 D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

【内部仕上げ、電気設備、機械設備の評価基準】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20年～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある場合

④健全度

③の劣化状況簡易評価を基に、各施設の劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価の参考指標です。健全度の算出方法は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省、2017（平成29）年）」に準じ以下のとおりです。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

（2）施設の役割

主に当該施設が設置された目的や施設の役割を記載しています。

（3）配置・機能の考え方

主に当該施設の今後の配置に対する考え方や機能について記載しています。

（4）現状と課題

主に当該施設の現状や抱える課題について記載しています。

（5）今後の施設の方向性と具体的対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 利用年数
清水交流センター	施設の方向性	2029（令和11）年度に長寿命化改修の目安とされる第35年を迎えること①から、大規模改修を実施して施設の長寿命化を図ります。											
	対策内容					②				大規模改修		④1,125	⑤
	費算金額 (千円)					③				332,960			

①施設の方向性

施設の役割や課題を踏まえた計画期間における施設の方向性を記載しています。

②対策内容

施設の役割や課題を踏まえた計画期間における年度ごとの対策内容を記載しています。主に更新（建替）や大規模な改修、休廃止等の施設運営に影響の大きい対策内容を記載しています。

③概算金額

②の対策内容に要する概算金額を記載しています。既に詳細な算出根拠がある場合はその額を記載していますが、算出根拠が明らかなでない施設については、以下算定基準により概算金額を算出しています。

※一般財団法人地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフトによる

大分類	更新費用 (1㎡あたり)	大規模改修費用 (1㎡あたり)
市民文化系施設	400,000円	250,000円
社会教育系施設	400,000円	250,000円
スポーツ・レクリエーション系施設	360,000円	200,000円
産業系施設	400,000円	250,000円
学校教育系施設	330,000円	170,000円
子育て支援施設	330,000円	170,000円
保健・福祉施設	360,000円	200,000円
行政系施設	400,000円	250,000円
公園	330,000円	170,000円
歴史的建築物	－	－
農業系施設	360,000円	200,000円
医療施設	400,000円	250,000円
その他	－	－

※更新とは、同程度の機能に再整備（解体も含む）すること。

※「公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果（総務省、2013（平成25）年）」から算出

大分類	解体費用 (1㎡あたり)
市民文化系施設	24,711円
社会教育系施設	24,011円
スポーツ・レクリエーション系施設	24,011円
産業系施設	24,711円
学校教育系施設	24,011円
子育て支援施設	30,927円

大分類	解体費用 (1㎡あたり)
保健・福祉施設	30,927 円
行政系施設	29,622 円
公営住宅	24,866 円
公園	24,711 円
歴史的建築物	-
農業系施設	24,711 円
医療施設	24,711 円
その他	24,711 円

④維持管理費

②の対策内容には記載されないものの、施設を適正に維持管理し、より長期的に利用するために実施する維持補修並びに保守点検に関する 1 年あたりの費用を記載しています。なお、維持管理費は 2019（令和元）年度における本市公共建築物の維持補修費と保守点検費を参考に 845 円/㎡として試算しています。

⑤目標耐用年数

本市では、定期的に建築物を点検し、不具合などを早期発見・対応するとともに、計画的な改修等を行うことで、法定耐用年数より長期間使用することを目指し、建築物の構造ごとに以下の目標耐用年数を設定しています。

建築物の構造	目標耐用年数 (長寿命化改修未実施の場合)
鉄筋コンクリート造 鉄骨造 鉄骨鉄筋コンクリート造	80年 (50年)
木造 軽量鉄骨造 コンクリートブロック造	60年 (30年)

第2章 弘前市公共施設等総合管理計画の概要

2016（平成 28）年に策定し、2022（令和 4）年に改訂した総合管理計画の概要は以下のとおりです。なお、総合管理計画に掲載されている数値等を同数値で掲載しているため、現時点の数値等と異なる場合があります。

1. 計画策定の目的

2016（平成 28）年に策定した総合管理計画は、市民の財産であるすべての公共施設について適切な維持管理のもと、長期的な視点で有効に活用しながら、市民サービスの維持・向上を図るための考え方や方策を定めることを目的としています。

2. 対象

総合管理計画の対象とする公共施設等は、庁舎、教育関連施設、市営住宅等の「公共建築物」と、道路、橋りょう、上下水道、公園といった「インフラ・プラント系施設」で、市が保有するすべての施設及び土地を対象としています。

3. 計画期間

総合管理計画の計画期間は 2015（平成 27）年度から 2035（令和 17）年度までの概ね 20 年間の計画期間としています。

4. 公共施設の状況

住宅、学校、庁舎等の建築物では、497 施設、延べ面積 711,748.16 m²となっており、用途別延べ面積の割合は、学校教育系施設が約 40%、市営住宅が約 22%で、この 2 つで本市の公共建築物の 60%以上を占めています。

道路、橋りょう等のインフラ・プラント系施設では、市道 1,422km、橋りょう 6.1km、水道管 1,065km、污水管 945km、公園 195ha、河川 104.8km、農道や林道水路等の農業インフラ 167km、ごみ処理施設 2 箇所となっています。

表 公共建築物（総合管理計画から抜粋（2020（令和 2）年 3 月末現在））

大分類	小分類	施設数 (施設)	小計 (施設)	延べ面積 (m ²)	小計 (m ²)	面積 割合 (%)
1.市民文化系施設	コミュニティセンター	23	28	16,285.24	29,982.84	2.29
	青年の家	1		1,122.88		0.16
	市民会館	1		5,593.73		0.79
	市民文化センター	3		6,980.99		0.98
2.社会教育系施設	中央図書館	1	28	4,922.77	34,853.22	0.69
	地域図書館・図書館分室	3		799.01		0.11
	博物館、郷土資料館	7		9,334.48		1.31

大分類	小分類	施設数 (施設)	小計 (施設)	延べ面積 (㎡)	小計 (㎡)	面積 割合 (%)
	公民館	16		16,722.50		2.35
	学習情報館	1		3,074.46		0.43
3.スポーツ・ レクリエーション系施設	市民体育館	11	38	29,522.16	59,745.64	4.15
	市民プール	4		2,409.34		0.34
	テニスコート	1		85.86		0.01
	野球場	1		106.00		0.01
	その他スポーツ施設	6		2,481.90		0.35
	キャンプ場	4		2,563.94		0.36
	観光センター	4		7,094.51		1.00
	余暇施設	7		15,481.93		2.18
4.産業系施設	産業系施設	1	1	1,332.00	1,332.00	0.19
5.学校教育系施設	小学校	33		166,047.73		23.33
	中学校	15		101,726.92		14.29
5.学校教育系施設	小・中学校	1	53	4,226.00	281,292.79	0.59
	教育センター	1		1,304.18		0.18
	給食センター	2		7,429.46		1.04
	幼児ことばの教室	1		558.50		0.08
6.子育て支援施設	児童館・児童センター、こ どもの家	24	25	7,582.73	7,747.83	1.07
	子育て支援センター	1		165.10		0.02
7.保健・福祉施設	老人福祉センター	5	14	2,803.86	14,311.53	0.39
	生きがい活動センター	1		583.52		0.08
	障害者総合支援センター	4		6,138.49		0.87
	母子生活支援施設	1		711.44		0.10
	保健会館	2		3,949.74		0.55
	福祉会館	1		79.48		0.01
8.行政系施設	市庁舎	6	91	33,673.72	48,571.03	4.73
	支所	2		6,567.73		0.92
	出張所	6		686.77		0.10
	屯所	76		6,424.01		0.90
	参画センター	1		1,218.80		0.17
9.公営住宅	公営住宅	24	45	157,508.14	161,084.62	22.13
	集会所	21		3,576.48		0.50
10.公園	公園	78	78	7,146.77	7,146.77	1.00

大分類	小分類	施設数 (施設)	小計 (施設)	延べ面積 (㎡)	小計 (㎡)	面積 割合 (%)
11.供給処理施設	処分場	4	4	4,099.70	4,099.70	0.58
12.歴史的建築物	歴史的建築物	12	12	4,226.23	4,226.23	0.59
13.農業系施設	揚水機場	4	17	388.62	14,907.42	0.05
	その他農業系施設	13		14,518.80		2.04
14.医療施設	病院	1	1	13,130.63	13,130.63	1.84
15.その他	駐車場、駐輪場	2	62	3,506.66	29,315.91	0.49
	斎場、墓苑	3		1,950.26		0.27
	便所	9		182.48		0.03
	倉庫、物置	26		7,519.75		1.06
	通路、地下道	3		3,854.71		0.54
	その他施設	19		12,302.05		1.73
497 施設					711,748.16 ㎡	100.00

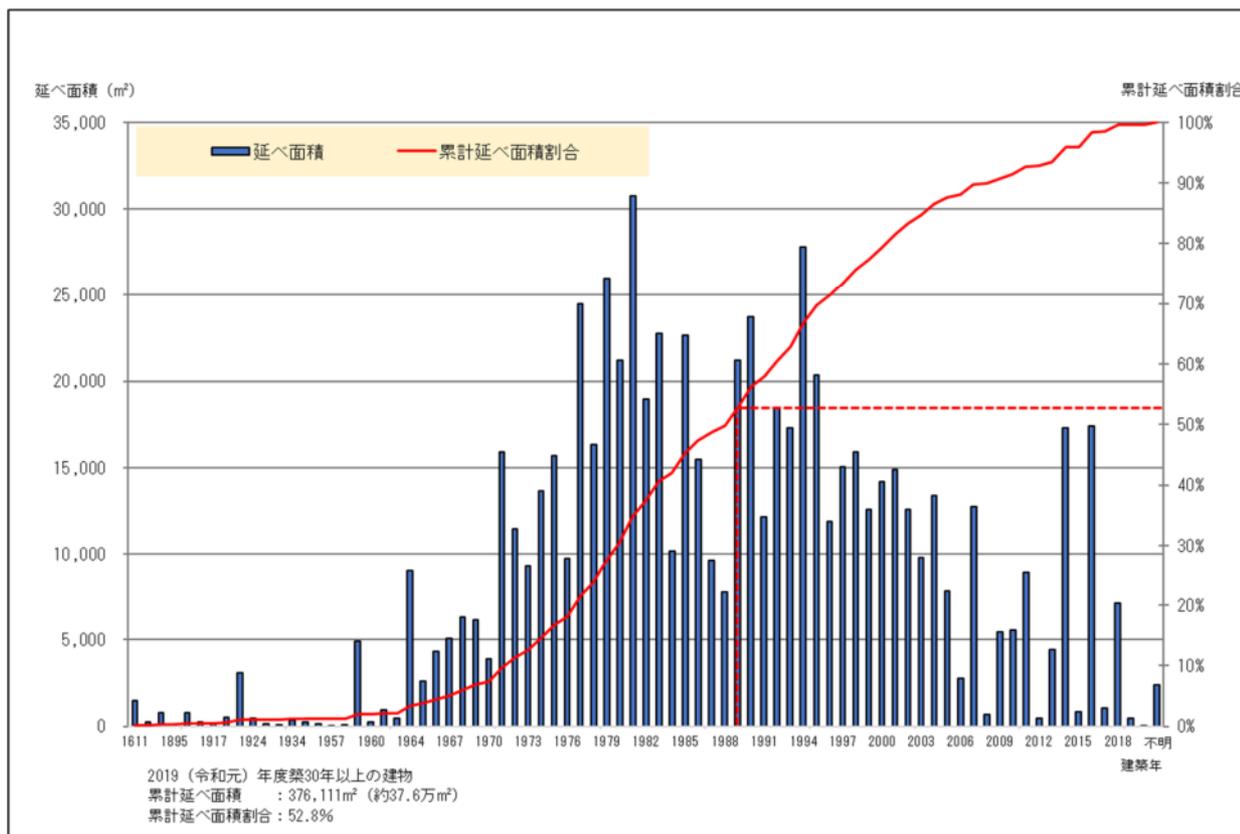
表 インフラ・プラント系施設（総合管理計画から抜粋（2020（令和2）年3月末現在））

分類	主な施設	施設数量	分類	主な施設	施設数量
道路	道路延長	1,422km	公園	都市公園・ 農村公園等	195ha
橋りょう	橋りょう延長	6.1km			
上水道	管路延長	1,065km	河川	準用河川	30.1km
	浄水場	12箇所		普通河川	74.7km
	ポンプ施設	21箇所	農業インフラ	農道延長	54km
	配水場	11箇所		林道延長	90km
下水道 (農業集落排水施設 含む)	管路延長	945km		水路	23km
	汚水雨水処理場	18箇所	ごみ処理施設	最終処分場	2箇所
	中継ポンプ場	4箇所			

5. 老朽化の状況

本市の保有する公共建築物のうち、一般的に大規模改修が必要な目安とされる建築後 30 年を経過した建築物は、2019（令和元）年度末時点で延べ面積にして約 37.6 万㎡となり、全体の 52.8%となります。このことは、今後老朽化がさらに進行し、それに伴い維持管理費の増大や大規模改修費が集中することで、大きな財政負担となることを示しています。

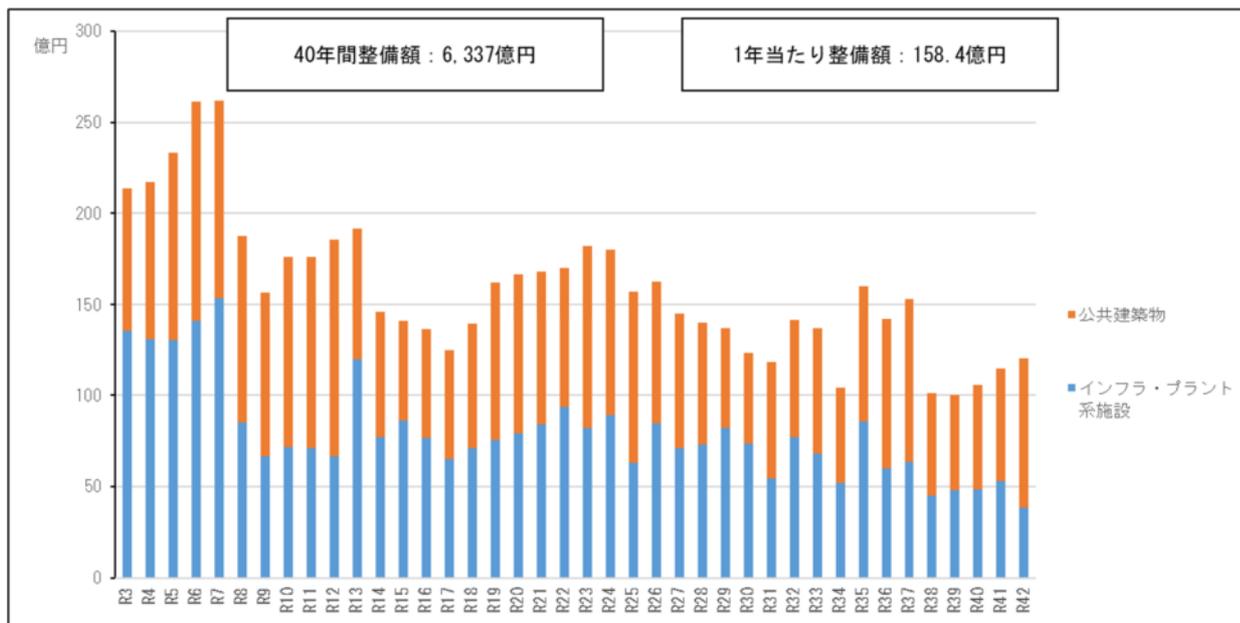
図 建築年別延べ面積（総合管理計画から抜粋（弘前市公共施設カルテ（令和元年度版）を基に作成））



6. 今後の更新費用の推計

総合管理計画では、本市で現在ある公共施設（インフラ・プラント系施設を含む。）をこのまま保有し続けた場合に要する更新費用を推計しています。推計では、公共施設全体での更新費用は、40年間で6,337億円となり、年平均では約158.4億円の試算となります。

図 公共施設全体の更新費用の推計（総合管理計画から抜粋（2019（令和元）年度末現在保有している施設等を対象））



※試算条件

- 2019（令和元）年度末現在保有している公共建築物を対象としています。ただし、普通財産、歴史的建築物、公園、供給処理施設は対象外としています。
- 更新時期や更新単価は、一般財団法人 地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフトに準拠して設定しています。
- 公共建築物は築30年で大規模改修、築60年で現在と同じ規模に建て替える、インフラ・プラント系施設はそれぞれ更新年数や築年数が到来した際に同じ規模に更新する、と仮定して更新費用を算出しています。

7. 施設管理の基本方針

当市の公共施設を取り巻く各課題に対応するため、これからは市民の財産である公共施設を適切な維持管理のもと、長期的な視点で有効活用しながら、市民サービスの維持・向上を図り、愛され親しまれる公共施設として次世代に継ぐためにファシリティマネジメント及びアセットマネジメントを進めます。

【公共建築物の基本方針】

- 施設が提供するサービスについて、将来を見据えたサービスの方向性の検討を行い、**施設総量の適正化・適正配置**を進めます。
- 既存施設を有効活用し、**施設の複合化や多目的化**を進めます。
- 定期的な点検と計画保全により、**施設の長寿命化**を目指します。
- 施設の維持管理業務の効率化を進め、**維持管理費を縮減**します。
- 民間ノウハウを積極的に導入し、**遊休施設の有効活用**を進めます。

【インフラ・プラント系施設の基本方針】

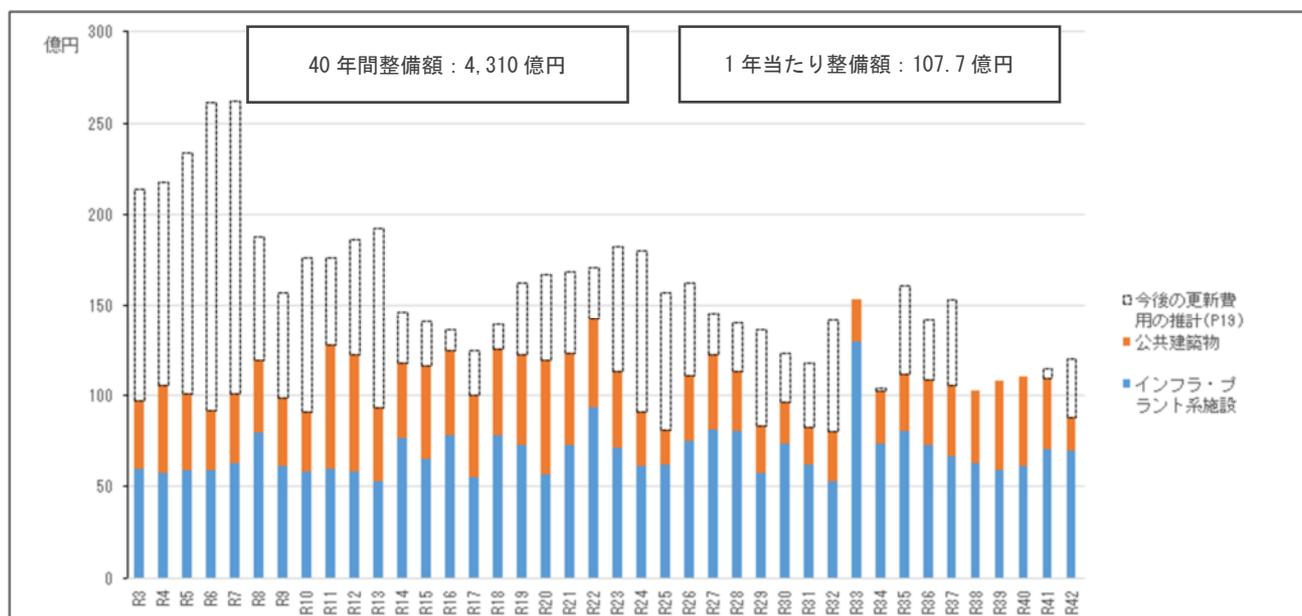
- 定期的な点検に基づく補修を行い、**施設の長寿命化**を目指します。
- 計画的な更新や補修により、**維持管理費の縮減・平準化**を進めます。
- 施設の更新時には、将来の人口動向や都市構造を見据え、**統廃合や規模の適正化**を検討します。

8. 『7. 施設管理の基本方針』に基づく今後の更新費用のシミュレーション

前項の『施設管理の基本方針』に基づく施設の長寿命化等の取り組みを進めた場合において、今後の更新費用をシミュレーションしたところ、公共施設全体の今後 40 年間の更新費用は、総額で約 4,310 億円、1 年当たり約 107.7 億円となり、長寿命化等の取り組みを進めない場合と比べて今後 40 年間の総額で約 2,027 億円、1 年当たり約 50.7 億円の縮減となる見込みです。

今後は、総合管理計画における取り組みを確実に進め、更新費用の縮減や平準化、さらには国の財政支援や外部資金の積極的な活用など、施設総量の削減、また、新たな知見や技術を積極的に取り入れるなどあらゆる方策により必要な更新費用の確保に取り組んでいきます。

図 公共施設全体の取り組みに基づく更新費用の推計（総合管理計画から抜粋（2019（令和元）年度末現在保有している施設等を対象））



※試算条件

- 2019（令和元）年度末現在保有している公共建築物を対象としています。ただし、普通財産、歴史的建築物、公園、供給処理施設は対象外としています。
- 更新時期や更新単価は、一般財団法人 地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフトに準拠して設定しています。
- 公共建築物及びプラント系施設・公園施設・供給処理施設は築 40 年で大規模改修、築 80 年で現在と同じ規模に建て替える、インフラ・プラント系施設は上水道と下水道をそれぞれ 60 年と 75 年で更新する、道路及び橋りょうは、更新年数が到来した際に同じ規模に更新する、と仮定して更新費用を算出しています。

第3章 各施設の方針

1. 計画期間における全体像

計画期間内に計画されている具体的対策内容の概算費用並びに維持管理費の全体像は以下のとおりです。

施設分類	延べ面積 (㎡)	計画期間における 具体的対策内容 の概算金額 (千円)	計画期間における1年 あたりの維持管理費 (千円)
市民文化系施設	34,370.5	3,908,794	29,043
社会教育系施設	34,253.3	355,786	28,944
スポーツ・レクリエーション系施設	59,444.8	446,159	50,231
産業系施設	1,332.0	32,915	1,126
学校教育系施設	263,646.8	11,129,790	222,782
子育て支援施設	7,504.4	302,044	6,341
保健・福祉施設	16,220.5	1,485,017	13,706
公営住宅	161,084.0	1,654,016	136,116
行政系施設	47,753.7	485,266	40,352
医療施設	13,697.6	7,432,140	11,574
農業系施設	3,171.3	23,430	2,680
その他	1,629.3	1,610,396	1,377
合計	644,108.2	28,865,753	544,271

※概算金額は、本計画並びに「弘前市文化施設個別施設計画」「弘前市学校施設個別施設計画」「弘前市公営住宅等長寿命化計画」「弘前市社会体育施設個別施設計画」に掲載されている費用の合計です。なお、「弘前市学校施設個別施設計画」は2028（令和10）年度までの実施計画掲載分を掲載しています。

※維持管理費は、施設分類ごとの延べ面積に845円/㎡を乗じて試算しています（千円以下四捨五入）。そのため、延べ面積合計から試算した場合と一致しません。

※社会教育系施設（中央公民館）の大規模改修の金額は、市民文化系施設（弘前文化センター）に含めていません。

2. 市民文化系施設

文化施設（市民会館や弘前文化センター等）については弘前市文化施設個別施設計画に掲載されています。

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
清水交流センター	コミュニティセンター	大開二丁目1-2	第四中	RC造	1,331.84	1994	47	2041	A	B	B	B	B	77
宮川交流センター	コミュニティセンター	堅田二丁目2-6	第一中	RC造	1,437.75	1997	47	2044	B	B	B	B	B	75
ワークトーク弘前	コミュニティセンター	清野袋三丁目8-5	第一中	RC造	641.84	1994	47	2041	—	B	B	B	B	—
サンライフ弘前	コミュニティセンター	豊田一丁目8-1	第五中	RC造	2,206.89	1981	47	2028	C	B	C	C	C	50
町田地区ふれあいセンター	コミュニティセンター	町田一丁目4-1	第二中	S造	960.38	2005	34	2039	—	B	A	A	A	—
三省地区交流センター	コミュニティセンター	三世寺字鳴瀬68-3	第二中	木造	433.09	2007	22	2029	B	B	A	A	A	91
新和地区体育文化交流センター	コミュニティセンター	種市字木幡387	新和中	S造	1,212.74	1996	34	2030	—	C	C	B	B	—

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
千年交流センター	コミュニティセンター	原ヶ平五丁目1-13	南中	S造	1,316.91	2006	34	2040	A	C	A	A	A	83
裾野地区体育文化交流センター	コミュニティセンター	十面沢字轡8-9	裾野中	木造 一部S造	1,527.81	2003	22	2025	B	B	B	B	B	75
岩木常盤野コミュニティセンター	コミュニティセンター	常盤野字上黒沢25-73	常盤野中	S造	197.64	1991	34	2025	—	C	B	B	B	—
岩木嶽さわやかホール	コミュニティセンター	常盤野字湯の沢45-24	常盤野中	S造	359.64	2000	34	2034	C	B	B	B	B	72
昴地区集会所	コミュニティセンター	昴5-2	相馬中	木造	368.7	1998	22	2020	A	B	B	B	B	77
北辰学区高杉ふれあいセンター	コミュニティセンター	独狐字山辺72-1	北辰中	S造	1,438.74	2007	34	2041	B	B	A	A	A	91
泉野多目的コミュニティ施設	コミュニティセンター	泉野三丁目6-2	第五中	木造	499.26	2015	22	2037	B	A	A	A	A	98
国吉農業多目的集会施設	コミュニティセンター	国吉字村元37-1	東目屋中	木造	259.19	1989	22	2011	A	B	B	B	B	77
館後地区農作業準備休養施設	コミュニティセンター	館後字新田67-2	東目屋中	木造	149.1	1993	22	2015	A	B	B	B	B	77
乳井地区多目的集会施設	コミュニティセンター	乳井字大清水133-2	石川中	木造	390.03	1994	22	2016	B	B	B	B	B	75
山越農作業準備休憩施設	コミュニティセンター	紙漉沢字堰根237-3	相馬中	木造	91.09	1999	22	2021	A	B	B	B	B	77
山田竜ヶ平農作業準備休憩施設	コミュニティセンター	相馬字竜ヶ平156-4	相馬中	木造	38.09	2001	22	2023	C	B	B	B	B	72
伝統産業会館	コミュニティセンター	神田二丁目4-9	第一中	RC造	503.87	1984	47	2031	A	A	C	C	C	62

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
駅前南地区都市改造記念会館	コミュニティセンター	大町二丁目12-7	第三中	木造	164.36	1980	22	2002	B	B	C	C	C	53
駅前地区都市改造記念会館	コミュニティセンター	駅前三丁目4-5	第三中	木造	288.66	1997	22	2019	B	B	B	B	B	75
相馬ふれあい館	コミュニティセンター	相馬字八反田25-1	相馬中	RC造	467.62	1977	47	2024	B	A	A	A	A	98
勤労青少年ホーム	青年の家	五十石町7	第二中	RC造	1,122.88	1971	47	2018	D	D	C	C	C	29

(2) 施設の役割

①コミュニティセンター

●交流センター

世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るために設置しています。

●泉野多目的コミュニティ施設

地域住民の避難場所並びにコミュニティ活動及び子育ての場としての機能を有するとともに、市民や事業者が多目的な活動を行う場所を提供するために設置しています。

●国吉農業多目的集会施設、館後地区農作業準備休養施設、乳井地区多目的集会施設、山越農作業準備休憩施設、山田竜ヶ平農作業準備休憩施設

地域コミュニティ活動の拠点として、地域住民の活動の場を提供しています。

●伝統産業会館

津軽塗などの伝統工芸品産業の振興及び市民の交流の場を提供します。

●駅前地区都市改造記念会館、駅前南地区都市改造記念会館

当該施設は、地域住民の文化交流や各種団体及び個人の活動の場として提供されています。

- 相馬ふれあい館

地域住民の各種研修会やレクリエーションなどの場として、地域住民の生涯学習及び地域交流活動を支援するための施設です。

- ②青年の家

- 勤労青少年ホーム

勤労青少年の福祉の増進を図るため、青少年が有する能力を有効に発揮できるよう、「教養・文化・体育及びレクリエーション」の場を提供していました。

(3) 配置・機能の考え方

- ①コミュニティセンター

- 交流センター

地域コミュニティ活動の中心となる施設として供用するため配置しています。

- 泉野多目的コミュニティ施設

地域コミュニティ活動の中心となる施設として供用するため配置しています。

- 国吉農業多目的集会施設、館後地区農作業準備休養施設、乳井地区多目的集会施設

施設の利用が特定の利用者限定され、公共的施設としての必要性が薄れてきたため、地元町会へ譲渡又は貸付を予定しています。

- 山越農作業準備休憩施設、山田竜ヶ平農作業準備休憩施設

不特定多数の農業者の農作業準備、食事、休憩の場等として利用され、公共性が高いことから、現状のまま市の施設として配置していきます。

- 伝統産業会館

伝統工芸品産業の振興を図るため、青森県漆器協同組合連合会の事務所機能を有し、また、市民の交流の場を提供するため、集会施設としての機能も有しています。

- 駅前地区都市改造記念会館

都市改造事業により、再編された地域住民の交流促進や福祉増進を図るため、駅前地区土地区画整理事業地区内に配置しており、利用率も高いことから、現状を維持します。

- 駅前南地区都市改造記念会館

都市改造事業により、再編される地域住民の交流促進や福祉増進を図るため、駅前南地区土地区画整理事業地区内に配置していますが、利用率の減少や施設の老朽化などから関係者と施設の方向性を検討した結果、2024（令和6）年3月31日で廃止としました。

- 相馬ふれあい館

今後も、地域住民の生涯学習及び地域交流活動の機会を与える場としての機能は必要であり、現状を維持します。

- ②青年の家

- 勤労青少年ホーム

2015（平成 27）年の「勤労青少年福祉法」の一部改正により、勤労青少年ホームの設置に関する条項が削除され、設置根拠が失われていることに加え、勤労青少年の利用率が年々減少し、施設の老朽化も著しいため、利用者へのアンケート調査を実施して施設の方向性を検討した結果、2024（令和 6）年 3 月 31 日で廃止としました。

（4）現状と課題

- ①コミュニティセンター

- 交流センター

建築から年数が経過している建物は、建物や設備の老朽化が進み、不具合箇所が増えています。

- 国吉農業多目的集会施設、館後地区農作業準備休養施設、乳井地区多目的集会施設、山越農作業準備休憩施設、山田竜ヶ平農作業準備休憩施設
老朽化に伴い、設備等の不具合が発生していることから、計画的に維持保全を図っていく必要があります。

- 伝統産業会館

2024（令和 6）年度時点で築 40 年を経過し、建物の老朽化が進んでいるため、建築年数が比較的浅く、損傷などが少ない建物への移転を目指します。

- 駅前地区都市改造記念会館

利用率は年々増加傾向にあります。また、当該施設は 2024（令和 6）年度時点で築 27 年となり、不具合箇所が増加しています。

- 駅前南地区都市改造記念会館

2024（令和 6）年 3 月 31 日で廃止済みです。今後は民間需要が見込めるものとして施設を存置したまま入札を実施し、売払いを予定しています。入札不調となった場合には、施設を解体し、再度入札を実施する予定です。

- 相馬ふれあい館

2024（令和 6）年度時点で築 47 年となりますが、2015（平成 27）年に各種改修工事を終了し、利便性の向上及び長寿命化を図っています。

②青年の家

●勤労青少年ホーム

2024（令和6）年3月31日で廃止済みです。今後は施設を解体し、市民体育館の駐車場として活用する予定です。

（5）今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数	
清水交流センター	施設の方向性	計画的に屋根・外壁や設備の改修を行いながら、施設の長寿命化を図ります。また、2029（令和11）年度に長寿命化改修の目安とされる築35年を迎えることから、大規模改修を実施します。											1,125	50年
	対策内容			屋根改修工事							大規模改修工事			
	概算金額 (千円)			17,242						332,960				
宮川交流センター	施設の方向性	計画的に屋根・外壁や設備の改修を行いながら、施設の長寿命化を図ります。											1,215	50年
	対策内容					屋根・外壁改修工事								
	概算金額 (千円)					40,700								

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
山田竜ヶ平農作業準備休憩施設	施設の方向性	不特定多数の農業者の農作業準備、食事、休憩の場等として利用され、公共性が高いことから、計画的に維持保全を図っていきます。										32	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
伝統産業会館	施設の方向性	比較的建築年数の浅い建物への移転を進め、伝統工芸品産業の振興に関する機能を強化した施設を目指します。										426	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
駅前南地区都市改造記念会館	施設の方向性	建物付き土地での売却を進めますが、売却できなかった場合は更地売却を目指します。										139	30年
	対策内容			廃止	入札	解体							
	概算金額 (千円)					9,900							
駅前地区都市改造記念会館	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										244	30年
	対策内容				トイレ改修								
	概算金額 (千円)				2,530								

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
相馬ふれ あい館	施設の 方向性	今後も、地域住民の生涯学習及び地域交流活動の機会を提供するため、計画的に維持保全を図っていきます。										395	80年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
勤労青少 年ホーム	施設の 方向性	第二中学校等複合施設整備事業に併せて、第二中学校校舎（6,381㎡）、勤労青少年ホーム（1,122.88㎡）の機能の一部、城西老人福祉センター（609.59㎡）の機能の一部を複合化した施設を整備します（延べ面積：8,113.47㎡→7,300㎡程度）。本施設は2024（令和6）年度中に解体します。										949	50年
	対策内容			廃止	解体								
	概算金額 (千円)				63,580								
	対策内容			基本設計、実施設計		複合化施設の整備							
概算金額 (千円)			弘前市学校施設個別施設計画における概算金額の通り			弘前市学校施設個別施設計画における概算金額の通り							

3. 社会教育系施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
中央公民館	公民館	下白銀町19-4	第一中	RC造	3,787.77	1981	50	2031	A	B	C	C	D	55
中央公民館岩木館	公民館	賀田一丁目18-3	津軽中	RC造	2,500.88	1981	50	2031	B	C	C	C	C	43
中央公民館相馬館	公民館	五所字野沢41-1	相馬中	RC造	491.97	2013	50	2063	相馬庁舎に記載 (複合施設)					
中央公民館相馬館長慶閣	公民館	五所字野沢45-3	相馬中	RC造	935.4	1983	50	2033	A	B	C	C	C	55
裾野公民館	公民館	大森字勝山81-1	裾野中	RC造	1,077.09	1978	50	2028	B	D	C	C	C	34
和徳公民館	公民館	大久保字沼田204-3	第一中	木造	313.2	1974	24	1998	A	B	C	C	C	55
清水公民館	公民館	小沢字御笠見46-10	第四中	木造	525.91	1984	24	2008	C	B	C	C	C	50
石川公民館	公民館	石川字石川114-1	石川中	S造	865.37	1979	50	2029	B	B	C	C	C	53
堀越公民館	公民館	門外二丁目3-11	第五中	木造	525.91	1983	24	2007	B	C	C	C	C	43

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
千年公民館	公民館	小栗山字川合115-1	南中	木造	604.07	1984	24	2008	A	B	C	C	C	55
船沢公民館	公民館	折笠字宮川95-5	船沢中	木造	765.96	1990	24	2014	B	B	B	B	B	75
新和公民館	公民館	種市字熊谷5-1	新和中	木造	497.27	1977	24	2001	C	C	C	C	C	40
藤代公民館	公民館	八代町2-10	第二中	木造	389.11	1975	24	1999	C	C	C	C	C	40
東目屋公民館	公民館	中野字中豊田20	東目屋中	RC造	2,134	1999	50	2049	A	B	B	B	B	77
高杉公民館	公民館	独狐字山辺72-1	北辰中	S造	35	2007	38	2045	北辰学区高杉ふれあいセンターに記載 (複合施設)					
東部公民館	公民館	末広四丁目10-1	東中	RC造	1,453.36	1995	50	2045	学習情報館に記載 (複合施設)					
弘前図書館	中央図書館	下白銀町2-1	第一中	RC造	4,922.77	1990	50	2040	C	B	B	D	B	55
こども絵本の森	地域図書館・図書館分室	駅前町9-20	第三中	SRC造	264.2	1994	50	2044	—	—	B	B	B	—
岩木図書館	地域図書館・図書館分室	賀田一丁目18-3	津軽中	RC造	399	1981	50	2031	—	C	C	C	C	—
相馬ライブラリー	地域図書館・図書館分室	五所字野沢41-1	相馬中	RC造	135.81	2013	50	2063	相馬庁舎に記載 (複合施設)					
郷土文学館	博物館、郷土資料館	下白銀町2-1	第一中	RC造	594.26	1990	50	2040	弘前図書館に記載 (複合施設)					
山車展示館	博物館、郷土資料館	下白銀町2-1	第一中	RC造	680.01	1994	50	2044	B	C	B	B	B	65

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
博物館	博物館、郷土資料館	下白銀町1-6	第一中	RC造	2,279.59	1976	50	2026	A	A	A	A	A	100
鳴海要記念陶房館	博物館、郷土資料館	賀田字大浦1-2	津軽中	RC造	274.81	2003	50	2053	A	A	B	B	B	84
弘前れんが倉庫美術館	博物館、郷土資料館	吉野町2-1	第三中	れんが造	3,089.59	1923	41	1964	A	A	A	A	A	100
高岡の森弘前藩歴史館	博物館、郷土資料館	高岡字獅子沢128-112	津軽中	RC造 一部S造	1,636.56	2018	50	2068	A	B	A	A	A	93
学習情報館	学習情報館	末広四丁目10-1	東中	RC造	3,074.46	1995	50	2045	B	B	B	B	B	75

(2) 施設の役割

①公民館

地域社会を構成する市民一人一人の生涯学習の拠点であり、学習意欲を育み、学習活動を高めていくための社会教育施設です。

②中央図書館・地域図書館・図書館分室

社会教育法に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存して市民が利用できるようにし、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に役立てることを目的に設置する施設です。

③博物館、郷土資料館

●郷土文学館

郷土出身作家等の文学作品及びこれに係る資料を展示保管することで、市民の教育及び文化の発展に寄与するものです。

●山車展示館

観光施設として、市民団体から寄附された山車及び大太鼓等を保管・展示しています。

●博物館

津軽に関する歴史、美術工芸その他の資料の収集、保管、展示等を行っており、教育的配慮の下に市民に利用され、教育及び文化の発展に寄与しています。

●鳴海要記念陶房館

旧岩木町が生んだみちのくの名工、陶芸家鳴海要氏の工房を保全し、その作品の収集、保全、研究、展示等を行うとともに、市民の交流、ふれあい及び生涯学習の場として活用しています。

●弘前れんが倉庫美術館

本施設は、中心市街地の賑わい創出、また、市民生活の一層の充実と文化芸術活動の推進を図ることを目的としています。

●高岡の森弘前藩歴史館

高照神社を中心とする当地の貴重な歴史・美術工芸資料の保存管理・展示公開を通じて、地域文化への理解促進及び文化財保護意識の啓蒙を図ります。

④学習情報館

市民が必要とする学習情報を迅速かつ的確に提供するなど、市民の生涯にわたる学習活動を支援する施設です。

(3) 配置・機能の考え方

①公民館

現在の既存施設の長寿命化、既存の市施設、小学校、中学校などの学校教育施設等への移転など、地域の特性を踏まえたうえで効率的、合理的な視点に立つとともに、市民の利便性、生涯学習の振興、地域コミュニティの活性化を第一義に考え、配置、整備について検討を進めていきます。

②中央図書館・地域図書館・図書館分室

市民の生涯学習、調査研究を支援する重要な拠点であることから現状を維持します。

③博物館、郷土資料館

●郷土文学館

弘前市ゆかりの文学を市内外に紹介する常設展示施設として現状を維持します。

- 山車展示館

藩政時代から伝わる貴重な山車を保管・展示する唯一の施設で、観光施設として重要な役割を果たしていることから、今後も必要な施設です。

- 博物館

当市の原始から近現代に至る歴史と文化を紹介する社会教育施設として、津軽の歴史・美術工芸資料や、郷土作家の優れた作品の収集・保存・展示を行っている、市内に存在する唯一の人文系博物館であり、今後も地域の教育・文化の発展に必要な施設です。

- 鳴海要記念陶房館

鳴海要氏の陶芸作品を紹介する施設であるとともに、岩木地区を拠点とした文化・芸術・生涯学習の場を提供する複合施設として、現状を維持します。

- 弘前れんが倉庫美術館

本施設は、JR 弘前駅と弘前公園の中間地点に位置し、土手町や鍛冶町といった中心商店街に隣接するなど絶好の立地にあり、当市における文化芸術の創造・交流の拠点、新たな賑わいや交流を創出する場として今後も必要な施設です。

- 高岡の森弘前藩歴史館

貴重な歴史的建造物である高照神社や緑豊かな境内地空間と併せ、歴史的な体感ができる場として整備されました。市町村合併による一体感のあるまちづくりを達成する施設であるとともに、岩木地区周辺の活性化の拠点としての役割を担っているため今後も必要な施設です。

- ④学習情報館

今後も、市民に対する生涯学習に関する必要な情報提供や機会を与える場としての機能は必要であり、現状を維持します。

(4) 現状と課題

- ①公民館

2024（令和6）年度時点で一番古い施設は築後50年を経過するなど、耐用年数を超過した施設が多数あります。人口減少や少子高齢化が進む中、公民館が果たす地域における「学び」「集い」の場としての役割は今後益々重要となり、施設、機能の維持をしていかなければなりません。すべての施設を更新していくことは、財政的な面から非常に厳しい状況にあるため、施設の適正配置や移転、市の他の既存施設との共用化を図る必要があります。

- ②中央図書館・地域図書館・図書館分室

2024（令和6）年度時点で弘前図書館は築34年、岩木図書館は築43年となり、老朽化による改修等が必要となっています。

③博物館、郷土資料館

●郷土文学館

2024（令和6）年度時点で築34年となり、老朽化による改修等が必要となっています。また、年々収蔵品が増加し、保管施設が満杯となっており、スペース確保が必要です。

●山車展示館

2024（令和6）年度時点で築30年となり、雨漏りや外壁の歪みなどが発生する等老朽化による改修等が必要となっています。

●博物館

2024（令和6）年度時点で、収蔵庫が築24年となり、老朽化による設備等の改修が必要になっています。また、年々収蔵品が増加し、収蔵スペースが不足するとともに分散しており、集約並びにスペース確保が必要です。

●鳴海要記念陶房館

鉄筋コンクリート造のギャラリー棟、木造の工房棟とも2024（令和6）年度時点で築21年となり、経年劣化のため設備等の不具合が増えてきていることから、計画的に維持保全を図っていく必要があります。

●弘前れんが倉庫美術館

本施設は、躯体の大規模修繕工事、バリアフリー化や設備機器設置等の整備工事を2020（令和2）年2月まで実施し、同年4月から指定管理での運営・維持管理業務を進めています。

●高岡の森弘前藩歴史館

約5,300点に及ぶ資料を収蔵・展示しています。豪雪地域であるため、来館者が安心して観覧できる環境整備が必要です。

④学習情報館

学習情報館が設置されている弘前市総合学習センターは築30年となる2025（令和7）年度時点で、大規模改修の必要性について検討する必要があります。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
中央公民館	施設の方向性	社会教育、生涯学習の振興、地域コミュニティ維持、活性化の拠点として公民館施設、機能は必要不可欠であることから、計画的に維持保全を図っていきます。										3,201	80年
	対策内容	大規模改修											
	概算金額 (千円)	弘前市文化施設個別施設計画における概算金額に同じ											
中央公民館岩木館	施設の方向性	社会教育、生涯学習の振興、地域コミュニティ維持、活性化の拠点として公民館施設、機能は必要不可欠であることから、計画的に維持保全を図っていきます。										2,113	50年
	対策内容			外壁一部改修									
	概算金額 (千円)			3,190									
中央公民館相馬館	施設の方向性	社会教育、生涯学習の振興、地域コミュニティ維持、活性化の拠点として公民館施設、機能は必要不可欠であることから、計画的に維持保全を図っていきます。										416	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												

4. スポーツ・レクリエーション系施設

スポーツ施設（体育館やプール等）については、体育施設個別施設計画に掲載されています。

1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
まちなか情報センター	観光センター	土手町94-1	第三中	S造 一部RC造	482.2	2004	34	2038	A	B	B	B	B	77
観光館	観光センター	下白銀町2-1	第一中	RC造	6,124.14	1990	50	2040	C	C	B	B	B	62
岩木トレイルセンター（お山の駅 岩木さんば館）	観光センター	常盤野字湯の沢149-2	常盤野中	木造	233.28	2004	24	2028	B	D	A	A	A	72
星と森のロマントピア	余暇施設	水木在家字桜井113-2	相馬中	RC造	7,568.75	1995	47	2042	C	C	B	B	B	62
国民宿舎いわき荘	余暇施設	百沢字寺沢28-29	津軽中	RC造	861.51	1964	47	2011	B	B	B	B	B	75
岩木総合交流ターミナル（アソベの森いわき荘）	余暇施設	百沢字寺沢28-29	津軽中	RC造	4,953.04	2000	50	2050	B	B	B	B	B	75
岩木山桜林公園	余暇施設	百沢字東岩木山3168	津軽中	S造	313.76	1996	38	2034	C	C	B	B	B	62
ビューロッジ四季彩	余暇施設	百沢字東岩木山3168	津軽中	木造	787.65	1994	22	2016	B	D	B	B	B	56

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
御所温泉	余暇施設	五所字野沢41-1	相馬中	RC造	951.22	2013	38	2051	相馬庁舎に記載 (複合施設)					
こどもの森	キャンプ場	坂元字山元4	第四中	木造	244.95	1990	24	2014	B	A	B	B	B	82
高長根レクリエーションの森	キャンプ場	高杉字神原282-72	北辰中	S造	273.65	1982	34	2016	C	C	C	C	C	40
弥生いこいの広場	キャンプ場	百沢字東岩木山2480-2	船沢中	RC造	1,931.67	1976	41	2017	A	B	C	C	C	55
少年野外研修場	キャンプ場	百沢字東岩木山3067	船沢中	木造	113.67	1979	15	1994	廃止検討中のため未評価					
高長根スキー場	その他スポーツ施設	高杉字神原282-72	北辰中	木造	72.49	1982	22	2004	解体予定のため未評価					

(2) 施設の役割

①観光センター

●まちなか情報センター

市民及び観光旅行者に、各種地域情報並びに交流及び休息の場を提供することにより、中心市街地ににぎわいを創出し活性化を図っています。

●観光館

観光施設として、市民や観光旅行者に対する観光情報の提供、地場産品の展示等を行い、市の観光及び物産の振興を図っています。地下には最大 88 台収容できる駐車場があり、道路交通の円滑化や都市機能の維持に寄与しています。

●岩木トレイルセンター

観光施設として、岩木山の観光案内及び登山情報提供を行っています。敷地内には、獄温泉から配湯される足湯があり、観光客をはじめ多くの方に利用されています。

②余暇施設

●星と森のロマンピア

敷地内には、ホテル、コテージ、バーベキュー設備、プール、天文台等の余暇施設が点在しており、相馬地区のシンボルとして、にぎわい創出に寄与しています。

●国民宿舎「いわき荘」・岩木総合交流ターミナル

岩木地区の地域振興・交流推進の拠点として宿泊施設をはじめとした施設の運営を行っています。

●岩木山桜林公園・ビューロッジ四季彩

明治期に植樹された桜があり、岩木地区の観光名所となっています。園内には炊事場・トイレを兼ね備えているため、キャンプや野外活動等で利用されているほか、宿泊施設等が併設され、国民宿舎いわき荘、岩木総合交流ターミナルと一帯となり運営が図られています。

●御所温泉

市民の健康増進及び福祉の向上並びに世代間の交流を図るため設置しています。

③キャンプ場

●こどもの森・高長根レクリエーションの森・弥生いこいの広場

優れた自然環境を活用し、市民に憩いの場を提供するとともに、広く市民の文化・体育向上を図る施設であることに加え、教育環境の場として子どもの心身の健やかな成長に資する施設として設置したものです。

●少年野外研修場

1977（昭和52）年に大石地区に開設され、自然を生かした施設の中で、青少年の社会教育活動として、キャンプや植林を通して家庭や学校では体験できない経験と学習を行うことを目的として設置された施設です。

④その他スポーツ施設

●高長根スキー場

優れた自然環境を活用し、市民に憩いの場を提供するとともに、広く市民の文化・体育向上を図る施設であることに加え、教育環境の場として子どもの心身の健やかな成長に資する施設として設置したものです。

(3) 配置・機能の考え方

①観光センター

- まちなか情報センター

弘前駅と観光館並びに弘前公園の中間、及び商店街の中心に位置し、市民の交流の場及び中心市街地の活性化の拠点として必要です。

- 観光館

当市観光の拠点として重要な役割を果たしていることから、今後も必要な施設です。

- 岩木トレイルセンター

岩木山の観光案内及び登山情報の提供機能を有する唯一の施設で、観光施設として重要な役割を果たしているため、今後も必要な施設です。

②余暇施設

- 星と森のロマンピア

ロマンピアは、相馬地区のシンボルであり、市民の憩いの場、観光客の宿泊施設として市に必要な施設です。

- 国民宿舎「いわき荘」・岩木総合交流ターミナル

岩木地区の観光振興の拠点として必要な施設であるため今後も維持します。

- 岩木山桜林公園・ビューロッジ四季彩

岩木地区の観光振興の拠点であるほか、市内でも数少ないキャンプ・野外活動が可能な場所となっているため、今後も施設を維持します。

- 御所温泉

御所温泉（交流施設機能）は、総合支所やその周辺を再編し、総合支所（行政機能）と中央公民館相馬館（公民館機能）を含めた複合施設であるため今後も維持します。

③キャンプ場

- こどもの森・高長根レクリエーションの森・弥生いこいの広場

こどもの森は登山や自然観察会などで利用があり、弥生いこいの広場はピクニック広場、動物広場やオートキャンプ場の利用があり、子供の心身の健やかな成長に資する場として、それぞれ役割分担されていることから、現在の配置状況で進めます。また、高長根レクリエーションの森については2018（平成30）年3月31日で廃止済みです。

- 少年野外研修場

地域の要望と好意により、大石地区に青少年用野外活動を体験できる施設として設置しましたが、利用者減少に伴う休止後 10 年の間に、施設の利用希望や活用気運の高まりなどは確認されておらず、施設は廃止することが妥当と考えます。

- ④その他スポーツ施設

- 高長根スキー場

2018（平成 30）年 3 月 31 日で廃止しました。

（４）現状と課題

- ①観光センター

- まちなか情報センター

2024（令和 6）年度時点で築 21 年となり、経年劣化のため設備等の不具合が増えてきていることから、計画的に維持保全を図るとともに、築 20 年を目途に空調機器等の設備改修を検討する必要があります。

- 観光館

2024（令和 6）年度時点で築 35 年となり、雨漏りや外壁の孕みなどが発生する等施設の老朽化が見られています。

- 岩木トレイルセンター

2024（令和 6）年度時点で築 21 年となり、外壁や施設内設備の老朽化が一部確認されているため、計画的に維持保全を図っていく必要があります。

- ②余暇施設

- 星と森のロマンピア

小規模な修繕や E S C O 設備の導入等を行っておりますが、敷地内施設は全体的に老朽化が進んでいます。具体的には、白鳥座においては配管類からの水漏れ等の突発的な故障が増加し、満天ハウスにおいては、老朽箇所やカビ臭、害虫等の苦情が多く寄せられている状況です。

- 国民宿舎「いわき荘」・岩木総合交流ターミナル

国民宿舎「いわき荘」は 2024（令和 6）年時点で築 61 年となりますが、定期的メンテナンスにより、岩木総合交流ターミナルも含め大きな不具合箇所はありません。今後、大浴場やボイラー等の改修を検討しています。

- 岩木山桜林公園・ビューロッジ四季彩

定期的メンテナンスにより大きな不具合箇所はありません。今後、エアコンの入替工事や給湯ボイラー等の改修を検討しています。

- 御所温泉

相馬庁舎に総合支所、中央公民館相馬館を含めた複合施設として、2013（平成 25）年に新築していますが、設備等の不具合箇所が増えつつあることから、計画的に維持保全を図っていく必要があります。

③キャンプ場

- こどもの森・高長根レクリエーションの森・弥生いこいの広場

法定耐用年数を超えており、経年劣化が著しく、補修対応にも限度があることから、早期施設更新が必要であり、今後の運営手法や事業費の財源確保などが課題となっています。高長根レクリエーションの森については、2018（平成 30）年 3 月 31 日で廃止済みで、今後解体する予定です。

- 少年野外研修場

利用者減少に伴い 2010（平成 22）年度より休止しています。

④その他スポーツ施設

- 高長根スキー場

2018（平成 30）年 3 月 31 日で廃止しており、利活用予定もありません。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
まちなか 情報セン ター	施設の 方向性	まちなか情報センターは、弘前市中心市街地活性化ビジョンで掲げる将来都市像の実現に向け、市民及び観光客向けの情報収集・発信並びに幅広い人の交流・休憩の場としての機能を提供していくため、今後も計画的に維持保全を図っていきます。										407	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
観光館	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、追手門広場施設全体の将来ビジョンを検討していきます。										5,175	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
岩木トレ イルセン ター（お 山の駅 岩木さん ぽ館）	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										197	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
ビュー ロッジ四 季彩	施設の 方向性	必要な改修を行いながら、計画的に維持保全を図っていきます。										666	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
御所温泉	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										804	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
こどもの 森	施設の 方向性	耐用年数を踏まえ、適切な時期に最低限の機能に縮小しての建て替え等を検討します。										207	30年
	対策内容										更新		
	概算金額 (千円)										88,182		
高長根レ クリエー ションの 森	施設の 方向性	有効活用できる事業者の情報収集や関係課との協議を進めましたが有効な利用策が見つからず、利活用策の策定には至らなかったことから、2024（令和6）年度からビジターセンター等の処分・解体整理を進めます。										231	50年
	対策内容				解体								
	概算金額 (千円)				7,359								

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数	
弥生いこいの広場	施設の方向性	ハイランドハウスについては、築50年となる2026（令和8）年度を目途に最低限の機能に縮小しての建て替え等を検討します。その他の施設についても同様に、耐用年数を踏まえ、適切な時期に建て替え等を検討します。											1,632	50年
	対策内容						更新							
	概算金額 (千円)						201,409							
少年野外研修場	施設の方向性	施設の廃止を検討します。											96	30年
	対策内容													
	概算金額 (千円)													
高長根スキー場	施設の方向性	有効活用できる事業者の情報収集や関係課との協議を進めましたが有効な利用策が見つからず、利活用策の策定には至らなかったことから、2024（令和6）年度からリフト及び照明等の処分・解体整理を進めます。											61	30年
	対策内容				解体									
	概算金額 (千円)				30,129									

5. 産業系施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
弘前職業能力開発校	産業系施設	田町五丁目3-3	第一中	軽量鉄骨造	1,332	1973	27	2000	D	D	C	C	C	29

(2) 施設の役割

58

労働者の安定就労の確保と労働力の地元定着を図るため、職業能力開発促進法に基づく労働者の職業訓練を行う施設で、職業人としての技能習得と職場での技術向上の役割を担っています。

(3) 配置・機能の考え方

職業訓練の実施により、労働者の安定就労の確保と労働力の地元定着を図る場であり、現在、津軽地域において設置している自治体が弘前市のみであることから、今後も市内に必要な施設です。

(4) 現状と課題

2024（令和6）年度時点で築52年となり、外壁パネルの劣化など、施設の老朽化が著しく、既存の施設を現状のまま使い続けるのは困難な状況にあります。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
弘前職業 能力開発 校	施設の 方向性	老朽化が著しいことや「配置・機能の考え方」を踏まえ、2026（令和8）年度を目途に岩木保健福祉センターに移転します。										1,126	30年
	対策内容						移転、解体						
	概算金額 (千円)						32,915						

6. 学校教育系施設

小学校・中学校については、弘前市学校施設個別施設計画に掲載されています。

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
教育センター	教育センター	末広四丁目10-1	東中	RC造	1,304.18	1995	50	2045	学習情報館に記載 (複合施設)					
東部学校給食センター	給食センター	末広一丁目3-5	東中	S造	2,916.14	1999	31	2030	B	C	B	B	B	65
西部学校給食センター	給食センター	茜町三丁目3-9	第二中	S造	4,513.32	2010	31	2041	A	A	A	A	A	100
幼児ことばの教室	幼児ことばの教室	末広四丁目10-1	東中	RC造	1,304.18	1995	50	2045	学習情報館に記載 (複合施設)					

(2) 施設の役割

①教育センター

教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査研究、教育職員研修等を行い、市の教育の充実振興を図ります。

②給食センター

●東部学校給食センター・西部学校給食センター

学校給食は、学校給食法等の関係法令に基づき、児童の心身の健全な発達に資するものであり、学校において食育の推進を図ることを目的としていることから、東部学校

給食センターでは小学校 12 校、西部学校給食センターでは小学校 20 校・中学校 16 校に対して給食を提供しています。

③ 幼児ことばの教室

ことばやその他の発達について支援を必要とする就学前の幼児について、教育相談及び個別・グループ指導支援を行い、市の教育の充実振興を図ります。

(3) 配置・機能の考え方

① 教育センター

教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査研究、教職員研修の場であり、市内に 1 施設は必要です。

② 給食センター

● 東部学校給食センター・西部学校給食センター

東部学校給食センターでは小学校 12 校、西部学校給食センターでは小学校 20 校・中学校 16 校に対して給食を提供し、東西 2 施設を併設しながら給食提供業務を担います。

③ 幼児ことばの教室

就学前の幼児に対することばや発達について指導支援の場であり、市内に 1 施設は必要です。

(4) 現状と課題

① 教育センター

2024（令和 6）年度時点で築 29 年となり、今後改修等が必要になると思われます。総合学習センター内の施設であることから、改修等は施設全体で整合性のある改修計画とする必要があります。

② 給食センター

● 東部学校給食センター・西部学校給食センター

2024（令和 6）年度時点で東部学校給食センターは築 26 年、西部学校給食センターは築 14 年となり、配管や壁、床、ダクトの漏水、舗装の割れ、悪臭など様々な不都合が散見されています。施設設備における耐用年数の超過や不具合箇所が増えているため、計画的な設備の更新や改修を行う必要があります。

③ 幼児ことばの教室

利用者は年々増加していることから、利用者の受入れ可能なスペースを確保する必要があります。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
教育センター	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										1,102	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
東部学校給食センター	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。また、児童生徒数が年々減少していることから、将来的には東西学校給食センターの統合も検討していきます。										2,464	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
西部学校給食センター	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。また、児童生徒数が年々減少していることから、将来的には東西学校給食センターの統合も検討していきます。										3,814	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
幼児こと ばの教室	施設の 方向性	健康づくりのまちなか拠点整備事業に併せて、2024年（令和6）年度に総合学習センターに一時移転した後、2027（令和9）年度頃に整備事業が完了予定の健康づくりのまちなか拠点に再移転します。										1,102	50年
	対策内容				移転・解体								
	概算金額 (千円)				23,410								

7. 子育て支援施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
みやぞの児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	宮園二丁目5-5	第一中	RC造	499.8	1991	47	2038	A	A	B	B	B	84
北児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	青山三丁目22-3	第一中	木造	433.52	2011	22	2033	A	B	A	A	A	93
豊田児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	豊田一丁目4-68	第五中	木造	361.87	1995	22	2017	B	A	B	B	B	82
三岳児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	三岳町13-42	第三中	S造	307.87	1984	34	2018	A	A	C	C	C	62
千年児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	小栗山字川合51-1	南中	木造	478.84	2001	22	2023	B	B	B	B	B	75
致遠児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	浜の町北一丁目8-1	第二中	木造	417.45	2008	22	2030	A	B	A	A	A	93
西部児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	高杉字神原93-2	北辰中	S造	305.35	1981	34	2015	A	A	C	C	C	62
東部児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	田園一丁目8-4	東中	S造	730.62	2006	34	2040	B	B	A	A	A	91
岩木児童センター	児童館・児童センター、こどもの家	五代字田屋敷182	津軽中	木造	485.95	2004	22	2026	A	A	B	B	B	84

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
進修児童館	児童館・児童センター、こどもの家	堅田三丁目17-1	第一中	木造	187.15	1969	22	1991	D	C	C	C	C	37
堀越児童館	児童館・児童センター、こどもの家	堀越字川合59-28	第五中	木造	236	1997	22	2019	A	A	B	B	B	84
大和沢児童館	児童館・児童センター、こどもの家	狼森字天王10-12	南中	木造	274.1	2007	22	2029	A	A	A	A	A	100
三省児童館	児童館・児童センター、こどもの家	三世寺字月見野2-4	第二中	木造	262.67	1999	22	2021	A	B	B	B	B	77
東目屋児童館	児童館・児童センター、こどもの家	桜庭字清水流52-2	東目屋中	木造	279.8	1977	22	1999	C	A	A	A	A	95
船沢児童館	児童館・児童センター、こどもの家	細越字早稲田42	船沢中	木造	299.77	2012	22	2034	A	B	A	A	A	93
自得児童館	児童館・児童センター、こどもの家	鬼沢字後田163-1	北辰中	木造	272.2	2003	22	2025	B	C	B	B	B	65
新和児童館	児童館・児童センター、こどもの家	青女子字桜苺304-1	新和中	木造	274.1	2006	22	2028	A	C	A	A	A	83
石川児童館	児童館・児童センター、こどもの家	石川字大仏下25-17	石川中	木造	187.97	1969	22	1991	C	C	C	C	C	40
大沢児童館	児童館・児童センター、こどもの家	大沢字上村元68-4	石川中	木造	187.15	1968	22	1990	C	C	C	C	C	40
薬師堂児童館	児童館・児童センター、こどもの家	薬師堂字館ノ平18-2	石川中	木造	185.49	1968	22	1990	C	C	C	C	C	40
城東児童館	児童館・児童センター、こどもの家	大久保字西田105-40	第一中	木造	299.77	2013	22	2035	A	A	A	A	A	100
駅前こどもの広場（遊び場）	子育て支援センター	駅前町9-20	第三中	SRC造	165.1	1994	47	2041	—	—	B	B	B	—

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
放課後児童健全育成事業実施施設 (堀越なかよし会)	放課後児童健全育成事業実施施設	大清水一丁目11-1	第五中	木造	371.9	1998	22	2020	D	C	B	B	B	59

(2) 施設の役割

①児童館・児童センター、こどもの家

●児童館・児童センター

児童館は、地域における子育て支援拠点として、児童福祉法第40条に基づく児童厚生施設であり、18歳未満のすべての子どもを対象としています。生活の援助と子育て支援を行い、健全な遊びを通して子どもの心身の健康増進を図り、知的・社会的適応能力を高め、情操を豊かにするという役割があります。

②子育て支援センター

当市の地域子育て支援の拠点として、親子の交流や、子育てに関する相談のほか、子育てサークルの育成や講座等のイベントの充実を図り、安心して子育てができる環境を提供します。

③放課後児童健全育成事業実施施設

保護者が就労等により放課後家庭にいない、小学校1年生から6年生までの児童に対し、放課後や土曜日、学校休業日等に保護者に代わり、放課後児童支援員が施設内において遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る役割を行います。

(3) 配置・機能の考え方

①児童館・児童センター、こどもの家

●児童館・児童センター

児童館・児童センターは、地域における子育て支援拠点のほかに、近年は保護者が共働き等のため見守りができない小学児童を預かる学童保育拠点としての需要も多いことから、各小学校区に1施設ずつ配置されることが望ましいものです。

②子育て支援センター

ヒロロスクエア内の子育てエリアの中心機能として、親子の遊び場・交流の場を配置しています。駅前の大規模商業施設内に配置されている子育て支援センターとして、利用者が市内にとどまらず県内・県外まで広がっています。

③放課後児童健全育成事業実施施設

小学校学区に児童館、児童センターがない地区になかよし会を配置し、児童の放課後の居場所を確保します。

(4) 現状と課題

①児童館・児童センター、こどもの家

●児童館・児童センター

老朽化に伴い、建物や施設等の不具合が増えてきています。児童が安全安心に過ごすことができるよう、施設の修繕及び改修が必要です。また、老朽化が著しい建物については、複合化に伴う統合による運営を予定している施設があります。

②子育て支援センター

子育て世代包括支援センターが隣接することで、産前・産後サポートの機能や転入者への案内の充実などを行うことができ、子育て世代へ切れ目のない支援を提供する施設として、中心地における子育て支援の拠点の機能を果たしています。

③放課後児童健全育成事業実施施設

児童が安全安心に過ごすことができるよう、施設の修繕及び改修が必要です。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
みやぞの 児童セン ター	施設の 方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										422	50年
	対策内容		屋根塗装 外壁修繕ほか										
	概算金額 (千円)		22,550										
北児童セ ンター	施設の 方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										366	30年
	対策内容						屋根塗装 外壁修繕ほか						
	概算金額 (千円)						9,900						
豊田児童 センター	施設の 方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										306	30年
	対策内容						屋根塗装						
	概算金額 (千円)						4,950						

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
自得児童館	施設の方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										230	30年
	対策内容									屋根塗装 外壁修繕ほか			
	概算金額 (千円)									10,527			
新和児童館	施設の方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										232	30年
	対策内容							屋根塗装 外壁修繕ほか					
	概算金額 (千円)							11,957					
石川児童館	施設の方向性	石川小・中学校等複合施設整備事業に併せて、石川小学校・石川中学校・石川公民館・石川出張所・石川児童館・大沢児童館・薬師堂児童館を複合化した施設が整備されるため、既存施設の方向性を検討する必要があります。										159	30年
	対策内容		複合化施設の整備			移転 既存施設の方向性を検討							
	概算金額 (千円)		132,232										
大沢児童館	施設の方向性	石川小・中学校等複合施設整備事業に併せて、石川小学校・石川中学校・石川公民館・石川出張所・石川児童館・大沢児童館・薬師堂児童館を複合化した施設が整備されるため、既存施設の方向性を検討する必要があります。										158	30年
	対策内容		複合化施設の整備			移転 既存施設の方向性を検討							
	概算金額 (千円)		石川児童館に同じ										

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数	
薬師堂児童館	施設の方向性	石川小・中学校等複合施設整備事業に併せて、石川小学校・石川中学校・石川公民館・石川出張所・石川児童館・大沢児童館・薬師堂児童館を複合化した施設が整備されるため、既存施設の方向性を検討する必要があります。										157	50年	
	対策内容	複合化施設の整備				移転 既存施設の方向性を検討								
	概算金額 (千円)	石川児童館に同じ												
城東児童館	施設の方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										253	50年	
	対策内容													
	概算金額 (千円)													
駅前こども広場 (遊び場)	施設の方向性	計画的に維持保全を図って、引き続き子育て支援の拠点として運営を継続します。										140	50年	
	対策内容													
	概算金額 (千円)													
放課後児童健全育成事業実施施設 (堀越なかよし会)	施設の方向性	令和3年度より放課後児童健全育成事業実施施設となったことから、必要に応じて施設の改修を行うと共に、屋根や外壁の修繕を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										314	30年	
	対策内容							屋根塗装 外壁修繕ほか						
	概算金額 (千円)							9,900						

8. 保健・福祉施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
城西老人福祉センター	老人福祉センター	城西四丁目1-3	第二中	RC造	609.59	1967	47	2014	C	C	C	C	C	40
老人福祉センター瑞風園	老人福祉センター	高杉字神原93-2	北辰中	S造	809.7	1983	34	2017	C	C	C	C	C	40
老人福祉センター祥風園	老人福祉センター	石川字大仏53-1	石川中	SRC造	498.34	1973	47	2020	C	B	C	C	C	50
生きがいセンター	生きがい活動センター	南袋町1-20	第二中	S造	583.52	1993	34	2027	B	B	B	B	B	75
保健センター	保健会館	野田二丁目7-1	第一中	RC造	2,180.98	1986	50	2036	C	D	B	B	B	53
岩木保健福祉センター	保健会館	賀田字大浦4-1	津軽中	RC造	1,768.76	1990	50	2040	D	D	B	B	B	51
障がい福祉プラザ	障害者総合支援センター	八幡町一丁目9-17	第一中	木造	481.65	2024	24	2048	A	A	A	A	A	100
弥生荘	障害者総合支援センター	中別所字平山140-1	船沢中	RC造	2,873.16	1996	50	2046	B	C	B	B	B	65
弥生学園	障害者総合支援センター	中別所字平山140-1	船沢中	RC造	2,521.8	1994	50	2044	A	C	B	B	B	67

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
ひまわり荘	母子生活支援施設	栄町一丁目1-6	第二中	CB造	711.44	1964	38	2002	C	C	C	C	C	40
社会福祉センター	その他保健福祉施設	宮園二丁目8-1	第一中	RC造一部 S造	1,997.91	1986	50	2036	現在調査中					
屋内ゲートボール場すぱーく弘前	その他保健福祉施設	石渡一丁目19-2	第二中	S造	1,183.68	1993	34	2027	現在調査中					

(2) 施設の役割

75

①老人福祉センター

老人福祉法第 15 条に定める老人福祉施設として、高齢者に関する各種の相談に応じるとともに、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与しています。

②生きがいセンター

高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図ります。

③保健会館

●保健センター

健康に係る思想の普及・啓発・健康診査、健康相談及び保健指導を実施しています。また、休日・夜間における急病患者に対し応急処置を行うため、弘前市医師会を指定管理者として、弘前市急患診療所を運営しています。同建物全体としては、区分所有となっており、他に弘前市医師会が常駐しています。また、弘前市医師会所有の看護学校、健診センターが併設されています。

●岩木保健福祉センター

地域の利用者等の活動拠点及び身体障害者福祉センターの代替施設としての役割を担ってきましたが、2024（令和 6）年に障がい福祉プラザが整備されたこと等により、

岩木保健福祉センターとしての利用は終了しています。

④障害者総合支援センター

●障がい福祉プラザ

身体障害者福祉法第 31 条に規定する「無料又は低額な料金で、身体障害者に関する各種の相談に応じ、身体障害者に対し、機能訓練、教養の向上、社会との交流の促進及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する施設」としての役割を担っています。

●弥生荘・弥生学園

障害児入所施設は、児童福祉法に基づき、障がいのある児童を保護、又は日常生活の指導及び自立生活に必要な知識や技能の付与を行う施設です。施設入所支援施設は、障害者総合支援法に基づき、障がいのある方に対し、主として夜間において、入浴、排せつ及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援を行うとともに、生活介護の日中活動とあわせ、日常生活を一体的に支援する施設です。

⑤母子生活支援施設

●ひまわり荘

児童福祉法第 38 条に基づき、配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行います。

⑥その他保健福祉施設

●社会福祉センター、屋内ゲートボール場すぱーく弘前

市民の健康的な生活の確保及び福祉意識の高揚並びに主体的な福祉活動の推進を図ります。

(3) 配置・機能の考え方

①老人福祉センター

高齢者の生きがいづくりや健康づくりの役割を担うための活動拠点として位置づけており、地域包括ケアシステムを構築する区域として設定している「日常生活 7 圏域」に 1 施設ずつ配置されることが望ましい施設です。

②生きがいセンター

高齢者の生きがいづくりや健康づくりの役割を担うための活動拠点として位置付けており、市町村単位ごとに 1 施設配置されることが望ましい施設です。

③保健会館

- 保健センター

市の保健衛生業務を行う活動拠点の場として市に1施設必要です。

- 岩木保健福祉センター

2024（令和6）年度に障がい福祉プラザが整備され、当該施設に機能移転したことから、同年度をもって廃止とします。

④障害者総合支援センター

- 障がい福祉プラザ

障がい者の自立と社会経済活動への参加を促進するための援助等を総合的に実施するように努めなければなりません。その実現のため、弘前市障がい福祉プラザは必要な施設です。

- 弥生荘・弥生学園

国の基本指針に基づく弘前市障がい福祉計画では、福祉施設入所から地域生活（グループホーム等）への移行（共生社会の実現）を目指しています。しかし、グループホームともに待機者が多く、「親亡き後」を不安に思う利用者及び家族が多い地域の実情を踏まえて、グループホーム等の整備促進とともに、施設の維持は必要です。

⑤母子生活支援施設

- ひまわり荘

施設の老朽化などにより、2022（令和4）年3月31日をもってひまわり荘を廃止しましたが、母子への生活サポートを目的とした「施設を用意した支援」から、既存事業と新たな取組を合わせた「ひとり親を含むすべての子育て世帯を対象とした総合的な支援」へ機能向上を図っています。

⑥その他保健福祉施設

- 社会福祉センター、屋内ゲートボール場すぱーく弘前

様々な生活課題を抱えた市民が気軽に立ち寄ることができ、必要に応じて適切な相談や支援を受けられる福祉の拠点です。

（4）現状と課題

①老人福祉センター

2024（令和6）年度時点で築42年～57年となり、3施設ともに老朽化が著しく進行しております。老朽化に伴い、建物や設備の修繕等が増えてきており、特に老人福祉センター瑞風園の温泉設備に関するものが多くなっており、計画的に維持保全を図っていく必要がありますが、土砂災害警戒区域内に設置されている老人福祉センター祥風

園については、現在地に立地していることが、防災上の観点から好ましくありません。

②生きがいセンター

2024（令和6）年度時点で築31年となり、所々で建物や設備等の不具合が発生しています。

③保健会館

●保健センター

2024（令和6）年度時点で築38年となり、設備の老朽化が進行しています。

●岩木保健福祉センター

岩木保健福祉センター（本館）は、2024（令和6）年度時点で築34年となり、電気設備等の更新時期を迎えており、さらに屋根材の老朽化が進行しています。岩木保健福祉センター（新館）は、給排水設備の一部が更新時期を迎えています。岩木地区の保健業務の拠点となってきましたが、平成18年の市町村合併に伴い、保健センター等に機能集約されており、さらに身体障害者福祉センターの代替施設としての利用は同施設の建替えに伴い、2024（令和6）年度までの予定となっています。

④障害者総合支援センター

●障がい福祉プラザ

2019（令和元）年、地盤沈下に伴う建物内の歪み等が生じ利用できなくなったことから、2021（令和3）年に解体、2024（令和6）年に新築しています（新築を機に名称を身体障害者福祉センターから障がい福祉プラザへ改称）。今後も定期点検と計画保全により、施設の長寿命化を目指します。

●弥生荘・弥生学園

弥生学園・弥生荘は2024（令和6）年度時点でそれぞれ築31年、築29年となり、老朽化が進んでいます。建物や設備の不具合は入所者の生活に直結するため、今後も計画的に維持保全を図っていく必要があります。

⑤母子生活支援施設

●ひまわり荘

2022（令和4）年3月31日をもって廃止したことに伴って、2024（令和6）年度から2025（令和7）年度にかけて解体予定です。

⑥その他保健福祉施設

●社会福祉センター、屋内ゲートボール場すぱーく弘前

2024（令和6）年度時点で社会福祉センターが築38年、屋内ゲートボール場すぱーく弘前が築30年となり、施設・設備が老朽化しています。施設の改修や設備の更新が必要となっています。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数	
城西老人 福祉セン ター	施設の 方向性	第二中学校等複合施設整備事業に併せて、第二中学校校舎（6,381㎡）、勤労青少年ホーム（1,122.88㎡）の機能の一部、城西老人福祉センター（609.59㎡）の機能の一部を複合化した施設を整備します。（延べ面積：8,113.47㎡→7,300㎡程度）											515	50年
	対策内容			基本設計、実施設計			複合化施設の整備							
	概算金額 (千円)			弘前市学校施設個別施設計画 における概算金額の通り			弘前市学校施設個別施設計画における概算金 額の通り							
老人福祉 センター 瑞風園	施設の 方向性	屋根や外壁の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。											684	50年
	対策内容	屋根・外壁改 修												
	概算金額 (千円)	22,376												
老人福祉 センター 祥風園	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。											421	50年
	対策内容													
	概算金額 (千円)													

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
生きがい センター	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										493	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
保健セン ター	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。2027（令和9）年度に旧弘前市立病院へ移転予定です。										1,843	50年
	対策内容							移転					
	概算金額 (千円)												
岩木保健 福祉セン ター	施設の 方向性	2024（令和6）年度を目途に施設を廃止し、その一部を弘前職業能力開発校に改修・転用します。										1,495	50年
	対策内容			設計	大規模改修	転用							
	概算金額 (千円)			15,290	343,420						0		
障がい福 祉プラザ	施設の 方向性	健全な環境の下で、利用者の立場に立った支援及び事業を継続していくため、2021（令和3）年に既存施設の解体を実施、2024（令和6）年に城北公園交通広場研修棟（66.25㎡）を複合化した施設を整備しました。（複合化施設延べ面積481.65㎡）										407	50年
	対策内容	解体		更新									
	概算金額 (千円)	14,626		373,010									

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数	
弥生荘	施設の 方向性	屋根改修や受変電設備更新等を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。また、施設の民間譲渡について協議・検討を進めていきます。										2,428	50年	
	対策内容	外壁改修		屋根改修	受変電設備更新	非常用自家発電機更新 トイレ洋式化	体育館屋根改修							
	概算金額 (千円)	37,389		53,570	3,350	31,790	精査中							
弥生学園	施設の 方向性	屋根改修や受変電設備更新等を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。また、施設の民間譲渡について協議・検討を進めていきます。										2,131	50年	
	対策内容	外壁改修			受変電設備更新	屋根改修								
	概算金額 (千円)	34,507			8,860	43,230								
ひまわり 荘	施設の 方向性	老朽化に伴う課題等に対応するため、現在の指定管理期間（2021(令和3)年度末）で施設を廃止し、母子への生活サポートを目的とした「施設を用意した支援」から、既存事業の拡充と新たな取組を組み合わせた「ひとり親を含むすべての子育て世帯を対象とした総合的な支援」へ機能向上を図り、一人ひとりに合った確できめの細かい支援を行っていきます。施設は、令和6年度から7年度にかけて解体します。										601	30年	
	対策内容	廃止				解体								
	概算金額 (千円)					41,885								
社会福祉 センター	施設の 方向性	老朽化している施設設備の更新や機能向上のほか、エレベーターの設置などバリアフリー化を図り、体育館は、ボッチャなどユニバーサルスポーツに対応した整備を図ります。また、災害発生時における災害ボランティアセンターの拠点として整備します。										1,688	50年	
	対策内容				調査	設計	大規模改修							
	概算金額 (千円)				7,755	54,377	399,582							

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
屋内ゲー トボール 場すばー く弘前	施設の 方向性	老朽化した屋根材等の施設補修や暖房等の設備更新のほか、施設としての機能の再整理を行い、必要な改修工事等について検討します。										1,000	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												

9. 公営住宅

公営住宅は、弘前市公営住宅等長寿命化計画に掲載されています。

10. 行政系施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
本庁舎	市庁舎	上白銀町1-1	第四中	RC造	22,916.68	1959	50	2009	B	B	A	A	A	91
ヒロロスクエア	市庁舎	駅前町9-20	第三中	SRC造	5,525.11	1994	50	2044	—	—	B	B	B	—
埋蔵文化財整理保管施設	市庁舎	樹木三丁目12-1	第四中	S造	1,782.4	1980	38	2018	A	A	C	C	C	62
道路維持課事務所	市庁舎	茜町二丁目5-1	第二中	S造	2,212.51	1977	38	2015	B	B	C	C	C	53
緑の相談所	市庁舎	下白銀町1-1	第一中	RC造	1,186.22	1980	50	2030	D	D	C	C	C	29
城東分室	市庁舎	末広四丁目10-1	東中	RC造	50.8	1995	50	2045	学習情報館に記載（複合施設）					
岩木庁舎	支所	賀田一丁目1-1	津軽中	RC造	5,544.42	1979	50	2029	A	A	A	A	A	100
相馬庁舎	支所	五所字野沢41-1	相馬中	RC造	1,023.31	2013	38	2051	B	B	A	A	A	91
東目屋出張所	出張所	中野字中豊田37-2	東目屋中	RC造	197	1999	50	2049	東目屋公民館に記載（複合施設）					

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
船沢出張所	出張所	折笠字宮川95-5	船沢中	木造	61.97	1990	24	2014	船沢公民館に記載 (複合施設)					
高杉出張所	出張所	独狐字山辺72-1	北辰中	S造	120.79	2007	38	2045	北辰学区高杉ふれあいセンターに記載 (複合施設)					
裾野出張所	出張所	大森字勝山81-1	裾野中	木造	15.66	1979	24	2003	裾野公民館に記載 (複合施設)					
新和出張所	出張所	種市字熊谷5-1	新和中	木造	193.41	1978	24	2002	新和公民館に記載 (複合施設)					
石川出張所	出張所	石川字石川114-1	石川中	S造	97.94	1979	38	2017	石川公民館に記載 (複合施設)					
南地区団 第1分団消防屯所	屯所	銅屋町63-2	第三中	木造	85.29	1977	22	1999	A	B	C	C	C	55
新町地区 コミュニティ消防センター	屯所	新町142-2	第二中	木造	93.56	2003	22	2025	B	B	A	A	A	91
紺屋町地区 コミュニティ消防センター	屯所	和田町	第二中	木造	168.1	2005	22	2027	D	B	A	A	A	85
南地区団 第2.3分団消防屯所	屯所	富田二丁目1-12	第三中	木造	136.21	1993	22	2015	D	B	B	B	B	69
南地区団 第5分団消防屯所	屯所	桔梗野三丁目10-11	第四中	木造	53.68	1990	22	2012	C	C	B	B	B	62
東地区 コミュニティ消防センター	屯所	大町一丁目5-2	第三中	木造	72.68	1994	22	2016	D	C	B	B	B	59
北地区団 第1.2分団消防屯所	屯所	東和徳町16-7	第一中	木造	144.32	2010	22	2032	A	B	A	A	A	93
小沢地区 コミュニティ消防センター	屯所	小沢字広野34-3	第四中	木造	91.91	2003	22	2025	D	C	A	A	A	75

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
清水地区団 第4分団消防屯所	屯所	坂元字山下41-7	第四中	木造	84.67	2006	22	2028	D	B	A	A	A	85
下湯口地区 コミュニティ消防センター	屯所	下湯口字青柳83-1	第四中	木造	88.57	1998	22	2020	B	C	B	B	B	65
和徳地区団 第1分団消防屯所	屯所	撫牛子三丁目19-1	第一中	木造	89.99	2006	22	2028	B	B	A	A	A	91
豊田地区 第1コミュニティ消防センター	屯所	新里字東里見136-30	東中	木造	100.56	1995	22	2017	D	C	B	B	B	59
福田地区 コミュニティ消防センター	屯所	福田三丁目2-22	東中	木造	89.75	2004	22	2026	A	A	A	A	A	100
豊田地区 第2コミュニティ消防センター	屯所	豊田一丁目4-64	第五中	木造	82.8	1994	22	2016	C	C	B	B	B	62
堀越地区 コミュニティ消防センター	屯所	堀越字柏田71-1	第五中	木造	83.64	1995	22	2017	D	B	B	B	B	69
門外地区 コミュニティ消防センター	屯所	門外四丁目14-1	第五中	木造	87.78	1996	22	2018	B	B	B	B	B	75
清水森地区 コミュニティ消防センター	屯所	清水森字沼田49-9	南中	木造	86.12	1999	22	2021	B	B	B	B	B	75
松木平地区 コミュニティ消防センター	屯所	松木平字松元191-2	南中	木造	85.28	1998	22	2020	D	C	B	B	B	59
千年地区団 第4分団消防屯所	屯所	小栗山字小松ヶ沢157-1	南中	木造	88.69	1990	22	2012	A	D	B	B	B	58
大和沢地区 コミュニティ消防センター	屯所	大和沢字里見32-3	南中	木造	89.13	2003	22	2025	A	B	A	A	A	93
千年地区団 第1分団消防屯所	屯所	一野渡字岡本54-3	南中	木造	89.99	2007	22	2029	D	D	A	A	A	67

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
原ヶ平地区 コミュニティ消防センター	屯所	原ヶ平二丁目1-35	南中	木造	86.25	2002	22	2024	C	B	A	A	A	88
千年地区団 第6分団消防屯所	屯所	狼森字天王37	南中	木造	89.97	2008	22	2030	D	A	A	A	A	92
土堂地区 コミュニティ消防センター	屯所	土堂字長瀬74	第二中	木造	88.18	1998	22	2020	A	B	B	B	B	77
中崎地区 コミュニティ消防センター	屯所	中崎字苅田4-2	第二中	木造	86.11	1996	22	2018	C	C	B	B	B	62
藤代地区団 第4分団消防屯所	屯所	三世寺字鳴瀬27-1	第二中	木造	89.97	2008	22	2030	A	B	A	A	A	93
国吉地区 コミュニティ消防センター	屯所	国吉字坂本71-5	東目屋中	木造	85.75	2002	22	2024	A	B	A	A	A	93
桜庭地区 コミュニティ消防センター	屯所	桜庭字西田279-7	東目屋中	木造	86.1	1998	22	2020	D	C	B	B	B	59
東目屋地区 コミュニティ消防センター	屯所	中畑字旭岡40-3	東目屋中	木造	80.6	1994	22	2016	A	C	B	B	B	67
船沢地区団 第1分団消防屯所	屯所	蒔苗字福岡16-5	船沢中	木造	77.83	1988	22	2010	B	B	B	B	B	75
船沢地区 コミュニティ消防センター	屯所	富栄字西田1-3	船沢中	木造	81.14	1994	22	2016	D	D	B	B	B	51
三ツ森地区 コミュニティ消防センター	屯所	富栄字浅井名169-3	船沢中	木造	88.81	1998	22	2020	A	C	B	B	B	67
細越地区 コミュニティ消防センター	屯所	細越字早稲田17-4	船沢中	木造	86.94	1996	22	2018	D	C	B	B	B	59
折笠地区 コミュニティ消防センター	屯所	折笠字法立堂130-4	船沢中	木造	85.29	2001	22	2023	C	C	B	B	B	62

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
船沢地区団 第2分団消防屯所	屯所	中別所字電108-14	船沢中	木造	89.99	2006	22	2028	D	C	A	A	A	75
前坂地区 コミュニティ消防センター	屯所	独狐字山辺72-7	北辰中	木造	87.35	1999	22	2021	A	C	B	B	B	67
高杉地区団 第1分団消防屯所	屯所	高杉字五反田246-1	北辰中	木造	87.77	2024	22	2046	A	A	A	A	A	100
糠坪地区 コミュニティ消防センター	屯所	糠坪字桜山151-2	北辰中	木造	89.99	2005	22	2027	B	C	A	A	A	81
檜木地区 コミュニティ消防センター	屯所	檜木字牧野195-8	北辰中	木造	86.54	2001	22	2023	D	B	B	B	B	69
泉田地区 コミュニティ消防センター	屯所	檜木字島原46-2	北辰中	木造	86.94	1996	22	2018	A	C	B	B	B	67
鬼沢地区 コミュニティ消防センター	屯所	鬼沢字後田163-2	北辰中	木造	186.73	2004	22	2026	A	B	A	A	A	93
大貝地区 コミュニティ消防センター	屯所	大森字田浦27-2	裾野中	木造	86.12	1999	22	2021	A	D	B	B	B	58
裾野地区団 第5分団消防屯所	屯所	十面沢字大面4-2	裾野中	木造	89.97	2013	22	2035	A	D	A	A	A	74
新和地区団 第6分団消防屯所	屯所	青女子字桜苅15-2	新和中	木造	53.82	1989	22	2011	C	B	B	B	B	72
新和地区団 第1分団消防屯所	屯所	青女子字桂川88-7	新和中	木造	89.98	2010	22	2032	A	B	A	A	A	93
種市地区 コミュニティ消防センター	屯所	種市字高瀬193-9	新和中	木造	86.12	2001	22	2023	A	B	B	B	B	77
新和地区団 第3分団消防屯所	屯所	小友字宇田野1337	新和中	木造	86.11	2015	22	2037	D	A	A	A	A	92

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
新和地区団 第5分団消防屯所	屯所	笹館字福山100-15	新和中	木造	89.99	2007	22	2029	D	D	A	A	A	67
石川地区 第1コミュニティ消防センター	屯所	石川字大仏下25-21	石川中	木造	84.46	1995	22	2017	A	B	B	B	B	77
石川地区 第2コミュニティ消防センター	屯所	大沢字下村元70-2	石川中	木造	84.36	1995	22	2017	A	C	B	B	B	67
乳井地区 コミュニティ消防センター	屯所	乳井字長橋70-2	石川中	木造	89.42	2001	22	2023	B	B	B	B	B	75
石川地区団 第4分団消防屯所	屯所	薬師堂字熊本51-2	石川中	木造	55.9	1989	22	2011	D	B	B	B	B	69
小金崎地区 コミュニティ消防センター	屯所	小金崎一丁目4-6	石川中	木造	93.56	2003	22	2025	B	C	A	A	A	81
岩木南地区団 駒越分団消防屯所	屯所	駒越字平田2-6	津軽中	木造	66.12	1981	22	2003	C	C	D	C	C	29
岩木南地区団 真土分団消防屯所	屯所	真土字東川307-3	津軽中	木造	89.99	2008	22	2030	A	A	A	A	A	100
岩木南地区団 鳥井野分団消防屯所	屯所	鳥井野字長田50-18	津軽中	木造	64.8	1999	22	2021	A	C	B	B	B	67
岩木南地区団 兼平分団消防屯所	屯所	兼平字林元53-4	津軽中	木造	64	1989	22	2011	A	C	B	B	B	67
岩木南地区団 一町田分団消防屯所	屯所	一町田字石田240-14	津軽中	木造	63.18	1991	22	2013	A	C	B	B	B	67
熊嶋地区 コミュニティ消防センター	屯所	熊嶋字豊田173	津軽中	木造	64.80	1996	22	2018	A	C	B	B	B	67
岩木東地区団 第1分団消防屯所	屯所	賀田一丁目20-5	津軽中	木造	87.48	1988	22	2010	A	B	B	B	B	77

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
八幡地区 コミュニティ消防センター	屯所	八幡字岸野田64-10	津軽中	木造	64.8	1996	22	2018	B	B	B	B	B	75
岩木東地区団 愛宕分団消防屯所	屯所	愛宕字山下42-1	津軽中	木造	28	1996	22	2018	C	C	B	B	B	62
鼻和地区 コミュニティ消防センター	屯所	鼻和字西田278-1	津軽中	木造	64.8	1995	22	2017	C	C	B	B	B	62
岩木西地区団 五代分団消防屯所	屯所	五代字早稲田588-4	津軽中	木造	72.86	2004	22	2026	A	C	A	A	A	83
岩木西地区団 宮地分団消防屯所	屯所	宮地字沢田215-2	津軽中	木造	64.8	1994	22	2016	A	C	B	B	B	67
岩木西地区団 新岡分団消防屯所	屯所	新岡字山本15-1	津軽中	木造	64.8	1991	22	2013	B	B	B	B	B	75
岩木西地区団 葛原分団消防屯所	屯所	葛原字大柳179-10	津軽中	木造	89.97	2011	22	2033	A	B	A	A	A	93
岩木西地区団 新法師分団消防屯所	屯所	新法師字稔66-27	津軽中	木造	89.97	2010	22	2032	D	B	A	A	A	85
岩木西地区団 百沢分団消防屯所	屯所	百沢字笹平34-5	津軽中	木造	33.05	1984	22	2006	C	B	C	C	C	50
岩木西地区団 高岡分団消防屯所	屯所	高岡字神馬野87-3	津軽中	木造	46.37	1982	22	2004	B	B	C	C	C	53
岩木西地区団 常盤野分団消防屯所	屯所	常盤野字湯の沢45-4	常盤野中	木造	89.97	2010	22	2032	B	B	A	A	A	91
湯口・黒滝地区 コミュニティ消防センター	屯所	湯口字二ノ安田160-2	相馬中	RC造	84.07	1996	47	2043	C	C	B	B	B	62
相馬地区団 第3分団消防屯所	屯所	五所字野沢45-3	相馬中	木造	89.97	2012	22	2034	A	B	A	A	A	93

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
紙漉沢地区 コミュニティ消防センター	屯所	紙漉沢字山越109-19	相馬中	木造	79.48	1992	22	2014	B	D	B	B	B	56
相馬地区団 第1分団消防屯所	屯所	相馬字八反田25-2	相馬中	木造	79.48	2003	22	2025	A	B	A	A	A	93
船沢地区団 第4分団消防屯所	屯所	宮館字宮館沢10-3	船沢中	木造	82.64	1993	22	2015	D	C	B	B	B	59
相馬地区団 第4分団黒滝機械置場	屯所	黒滝字一ノ川瀬36-2	相馬中	木造	26.4	1974	15	1989	C	D	C	C	C	31
相馬地区団 第3分団水木在家機械置場	屯所	水木在家字桜井81-1	相馬中	木造	26	1965	15	1980	C	C	C	C	C	40
相馬地区団 第1分団沢田機械置場	屯所	沢田字園村	相馬中	木造	26.4	1967	15	1982	C	C	C	C	C	40
相馬地区団 第2分団坂市機械置場	屯所	藤沢字野田1-7	相馬中	木造	26.5	1980	15	1995	C	D	C	C	C	31
藤代地区団 第2分団消防屯所	屯所	浜の町東三丁目1-11	第二中	S造	284.02	1988	34	2022	2025（令和7）年度に劣化状況の評価を実施					

（２）施設の役割

①市庁舎

●本庁舎

住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものです。地方自治法第4条第1項および弘前市の事務所の位置を定める条例に基づいて設置されております。

- ヒロスクエア

市民のいろいろな生活シーンの中で、誰もが気軽に立ち寄り、行政サービスを利用できる公共フロアです。

- 埋蔵文化財整理保管施設

発掘調査等により発見された土器等は、文化財保護法において、青森県より認定された文化財となり、国民共有の財産として、永久的に保管と公開活用を図る必要があります。適切に保管・管理を行うことで、弘前市における埋蔵文化財・歴史の公開活用の役割を担っています。

- 道路維持課事務所

道路維持課の事務所として利用しています。

- 緑の相談所

当該施設は、市民の緑化意識高揚を図るための都市緑化植物園の施設として設置されており、市民の都市緑化拠点となっています。また、公園緑地課の事務室として利用しています。

- 城東分室

市民課の分室として、各種証明書等の交付を行っています。

- ②支所

- 岩木庁舎

地区の総合的な窓口のほか、上下水道部（お客様センター含む）及び教育委員会が配置されており、災害時には緊急避難所としての機能を持った施設です。

- 相馬庁舎

地区の総合的な窓口のほか、御所温泉及び中央公民館相馬館が設置されており、災害時には緊急避難所としての機能を持った施設です。

- ③出張所

地域住民の行政サービスの提供等（住所の異動届、印鑑登録、戸籍に関する届出、各種証明書の交付など）を行っています。

- ④屯所

火災出動のほか、各種災害対応など地域の防災拠点として消防車両及び資機材等を配備しています。

(3) 配置・機能の考え方

①市庁舎

- 本庁舎

本庁舎は市行政の拠点であることから必要な施設であります。

- ヒロロスクエア

「子育て」、「健康」、「交流」、「行政」の4つの機能が集約された多世代の市民交流と健康増進の拠点であり、弘前駅前地区に必要な施設であります。

- 埋蔵文化財整理保管施設

市街地で一元管理することにより、文化財の適切な保存と管理、継続的な公開と活用を図ることができます。なお、市内全域で実施される発掘調査の拠点ともなることから、郊外ではなく、市街地に1施設位置することが望ましいと考えます。

- 道路維持課事務所

道路管理業務や大雨等の災害対応のため、事務所と重機等の車庫、資材置き場が一体でなければいけません。市街地の浸水や相談等に速やかに対応できるよう市街地から近い場所で、かつ倒木等の被害の発生しやすい岩木・相馬地区へのアクセスが容易な場所でなければいけません。

- 緑の相談所

緑の相談所の中に公園緑地課の事務所を配置しており、弘前公園の維持・管理及び災害対応などを直営で行っており、早急な対応をするために弘前公園内の配置が適当です。

- 城東分室

駅前分室が既に設置されており、城東方面の市民の便宜を図るため、総合学習センター開設に伴い設置しております。繁忙期における本庁、駅前分室の混雑緩和にも寄与しています。

②支所

- 岩木庁舎

合併前の旧岩木町に設置しています。

- 相馬庁舎

合併前の旧相馬村に総合支所（行政機能）、御所温泉（交流施設機能）、中央公民館相馬館（公民館機能）の3つの機能を有する複合施設として設置していま

す。

③出張所

本庁舎から比較的遠い、合併前の旧村（東目屋、船沢、高杉、裾野、新和、石川）に設置しています。

④屯所

消防団の地域密着性、要員動員力、即時対応力の特性を活かし、地域防災力を維持していくため、旧市町村の枠組みを基本に配置しています。

（４）現状と課題

①市庁舎

●本庁舎

市民防災館の新築工事、前川本館・新館の改修工事を終え、計画的に維持保全を行っています。

●ヒロロスクエア

ビル全体の開業から2024（令和6）年度時点で30年経過し、設備について順次改修を行う必要があります。

●埋蔵文化財整理保管施設

施設は2024（令和6）年度時点で築44年となり、老朽化が進行していることから、将来的には計画的な大規模改修を検討する必要があります。

●道路維持課事務所

1977（昭和52）年建築であり、新耐震基準に適合していない箇所が複数あります。市町村合併以降の事務の増加により、職員が増員し、執務室面積が狭隘となっています。

●緑の相談所

2024（令和6）年度時点で築44年を超えており、施設の修繕及び暖房設備の更新が必要です。

●城東分室

建物性能も高く、設備等の大規模改修等の必要性はありません。

②支所

●岩木庁舎

庁舎全体は、1979（昭和54）年11月に建てられ、2013（平成25）年から2017（平成29）年まで耐震補強工事、大規模改修工事、外構工事（雪室、車庫

等含む)を行っています。また、緊急避難所として太陽光発電、照明のLED化、LPガスを利用した熱・電供給設備を導入し機能の向上を図っており、適正管理を目指します。

●相馬庁舎

御所温泉、中央公民館相馬館機能を含めた複合施設として、2013（平成25）年に新築していますが、設備等の不具合箇所が増えつつあることから、計画的に維持保全を図っていく必要があります。

③出張所

2024（令和6）年度時点で築40年を超える老朽化が著しい施設が2施設、法定耐用年数を超過している施設が4施設あります。老朽化している出張所は、建物改修を含め、公民館等の併設施設と一体的に検討する必要があります。

④屯所

これまで定期的な点検の実施により施設の保全に努めてきましたが、2024（令和6）年度時点で築30年以上の施設が25施設あり、今後老朽度の高くなる施設が増加傾向にあることから、計画的かつ効率的な維持保全及び更新が必要となります。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
本庁舎	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										19,365	80年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
ヒロロスクエア	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										4,669	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
埋蔵文化財整理保管施設	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていきます。近い将来、期間限定の展示公開等を検討します。										1,506	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
道路維持 課事務所	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										1,870	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
緑の相談 所	施設の 方向性	史跡津軽氏城跡弘前城内にある建築物であり、文化庁との協議を進めるなど慎重に整備方法を検討します。また、前川建築であることから改修について関係課と協議を進めます。										1,002	80年
	対策内容					大規模改修							
	概算金額 (千円)					296,555							
城東分室	施設の 方向性	市民課分室として、各種証明書等の交付を行っており利用者数も多いため、計画的に維持保全を図っていきます。										43	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
岩木庁舎	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										4,685	80年
	対策内容					非常用発電機 更新							
	概算金額 (千円)					43,670							

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
折笠地区 コミュニティ消防 センター	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、今後、整備のあり方について検討します。										72	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
船沢地区 団 第2 分団消防 屯所	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、今後、整備のあり方について検討します。										76	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
前坂地区 コミュニティ消防 センター	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、今後、整備のあり方について検討します。										74	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
高杉地区 団 第1 分団消防 屯所	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										74	30年
	対策内容			更新	解体								
	概算金額 (千円)			44,220	6,160								

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
紙漉沢地区コミュニティ消防センター	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、今後、整備のあり方について検討します。										67	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
相馬地区団第1分団消防屯所	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、今後、整備のあり方について検討します。										67	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
船沢地区団第4分団消防屯所	施設の方向性	計画的に維持保全を図っていくとともに、今後、整備のあり方について検討します。										70	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
相馬地区団第4分団黒滝機械置場	施設の方向性	施設の老朽化及び使用状況を踏まえ、廃止し解体します。										22	30年
	対策内容				解体								
	概算金額 (千円)				943								

1 1. 医療施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
旧弘前市立病院	病院	大町三丁目8-1	第三中	RC造	13,697.56	1971	50	2021	C	C	C	C	C	40

(2) 施設の役割

①医療施設

●旧弘前市立病院

1971（昭和46）年度に、市民の健康保持に必要な医療を提供するために弘前市立病院が設置されましたが、青森県地域医療構想に基づき、津軽地域保健医療圏における医療提供体制の再構築のため、独立行政法人国立病院機構弘前病院との再編により、2022（令和4）年3月31日をもって閉院しました。

(3) 配置・機能の考え方

①医療施設

●旧弘前市立病院

弘前市立病院閉院後の施設の活用については、2021（令和3）年度に「弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想」を策定し、弘前総合保健センターを軸に、障害者生活支援センターや高齢者健康トレーニング教室等の「健康・医療・福祉」の機能、コミュニティスペース等の「多世代の交流」、「多様な学び」の機能を集約した「健康づくりのまちなか拠点」として整備する方針としています。

市内に点在する施設・機能を集約することで、効率的で効果的な事業展開が図られ、相互に連携し、利用者の利便性の向上も期待できます。

移転する施設の既存の建物は、老朽化が進んでおり、今後も継続して活用する場合は大規模な改修や建替えが必要となりますが、旧弘前市立病院を大規模改修してこれらを集約することにより、整備費用や管理費用の削減が見込まれます。

また、旧弘前市立病院は前川國男の設計によるものであり、歴史的・文化的価値も高いことから、改修による活用を図りながら次世代へと継承していく必要があります。

(4) 現状と課題

① 医療施設

● 旧弘前市立病院

2024（令和6）年度時点で築53年が経過し、施設の老朽化が著しい状況にあります。

今後も継続して活用するためには、耐震補強等による長寿命化を行い、利用目的に合わせた室の再配置、快適な利用環境を整えるための各種設備の更新・防災・減災対策が必要です。

また、既存機能の集約化に加え、機能の新設に伴い、必要なスペースの増加が見込まれるため、スペースの共用化や耐震性向上のための上層階の解体撤去など、延べ面積の抑制や整備費用の縮減に向けた検討が必要です。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
旧弘前市立病院	施設の方向性	耐震補強等による長寿命化を図り、健康増進課、保健センター、急患診療所等が入る総合保健センター、障害者生活支援センター、幼児ことばの教室、高齢者健康トレーニング教室、権利擁護支援センターの移転、コミュニティスペース等の新設により、複数の機能を集約した施設として転用し、一部減築して目的に合わせた室の配置、各種設備の更新など、大規模改修を行い整備します。（転用前延べ面積約13,697㎡⇒転用後延べ面積約13,158㎡程度）										11,574	95年
	対策内容		大規模改修基本設計業務	大規模改修改修実施設計業務	大規模改修工事			供用開始					
	概算金額 (千円)		37,620	87,780	7,306,740								

1 2. 農業系施設

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
小栗山農村交流公園	その他農業系施設	小栗山字沢部220-1	南中	木造	149.06	1993	24	2017	B	B	B	B	B	75
相馬昴農園	その他農業系施設	湯口字二ノ安田159	相馬中	木造	273.79	1999	24	2023	A	B	B	B	B	77
相馬エビ等養殖施設	その他農業系施設	五所字里見37-5	相馬中	S造	824.32	1996	31	2027	B	B	B	B	B	75
りんご公園	その他農業系施設	清水富田字寺沢125	第四中	S造	1,924.08	2002	38	2040	B	B	B	B	B	75

(2) 施設の役割

①その他農業系施設

●小栗山農村交流公園・相馬昴農園

弘前市農村交流施設条例に基づき、農村地域住民に健康増進と憩いの場を提供するとともに、農作業を通じて都市部住民の農業に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

●相馬エビ等養殖施設

地域の資源である温泉を活かした事業を実施することにより、地域資源（温泉）の利用拡大と、特産物の開発推進により相馬地区の活性化を図ります。

●りんご公園

りんごに関する知識、情報並びに学習体験の場及び休憩の場を提供し、りんご及びりんご生産に対する理解の向上並びにりんご産業の振興を図ります。

(3) 配置・機能の考え方

①その他農業系施設

●小栗山農村交流公園・相馬昴農園

利便性を考慮し、旧市町村（岩木地区は相馬地区に含む）毎に配置する必要があります。また、上述の施設の役割を果たすために、今後とも必要な施設です。

●相馬工ビ等養殖施設

地域にはこれまで通り必要な施設ではありますが、市有施設としての必要性はないと考えております。

●りんご公園

りんごに関する情報発信や研修の場として施設を提供しており、災害時における指定緊急避難場所としての機能を有するため、現状のまま配置とします。

(4) 現状と課題

①その他農業系施設

●小栗山農村交流公園

1993（平成 5）年に建設した施設であり、2024（令和 6）年度時点で築 31 年となりますが、現在のところ大規模な改修等を要するものではありません。

●相馬昴農園

1999（平成 11）年に建設した施設であり、2024（令和 6）年度時点で築 25 年となりますが、現在のところ大規模な改修等を要するものではありません。

●相馬工ビ等養殖施設

2024（令和 6）年度時点で築 28 年となり、施設の老朽化が進んでおり、特に施設各室の壁や天井の傷みが激しい状況です。また、施設内で温泉を利用しているため毎年照明器具などの電気系統の故障により養殖業務に支障を及ぼし、突発的な修繕を要している状況です。

●りんご公園

拡張整備を行い 2019（令和元）年 5 月にリニューアルオープンしましたが、従前からの既存施設において経年劣化による不具合が発生しており、随時修繕を行い対応しています。りんごの家 A 棟（2002（平成 14）年竣工）においては、築 20 年を目途に屋根や設備等の大型改修が必要と見込まれます。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
小栗山農 村交流公 園	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										126	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
相馬昂農 園	施設の 方向性	計画的に維持保全を図っていきます。										231	30年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												
相馬エビ 等養殖施 設	施設の 方向性	温泉を活用し養殖したオニテナガエビを相馬地区の地域おこしの資源としてみると、当該施設は必要と考えるが、養殖事業については、専門的な知識や技術、経験などが必要であり、市が直接当該事業を進めることは困難であることから、民間譲渡へ向けた検討を進めていきたいと考えています。										697	50年
	対策内容												
	概算金額 (千円)												

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数
りんご公園	施設の 方向性	屋根や設備等の改修を行いながら、施設の長寿命化を図っていきます。										1,626	50年
	対策内容			屋根改修									
	概算金額 (千円)			23,430									

13. その他

(1) 施設の概要

施設名称	主な用途	施設概要							劣化状況簡易評価					
		所在地	中学校区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年)	法定耐用年数 (年)	法定耐用年限 (年)	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (点)
斎場	斎場、墓苑	常盤坂二丁目20-1	第四中	RC造	1,629.32	1982	50	2032	B	B	C	C	C	53

(2) 施設の役割

● 斎場

墓地、埋葬等に関する法律に基づき、火葬場の管理等が、国民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることを目的としています。幅広い世代の市民に利用され、弘前市における火葬業務の役割を担っています。

(3) 配置・機能の考え方

● 斎場

斎場の場所、建物は、前川建築としての文化的価値等広く市民に認知されているため、現在の場所、建物を使用しながら維持していきます。

(4) 現状と課題

● 斎場

現在、1月1日を除く毎日稼働し、年間 2,300 件ほどの利用実績となっており、ほぼ毎日 6~7 件の利用があり、6 基ある火葬炉はフル稼働に近い状態です。

<火葬炉>

- ・現状の使用頻度から、火葬炉については毎年1基ずつ（6年周期で）改修を行っています。
- ・現在使用している火葬炉は、設計上、体重が100kgを超える人体火葬は難しいです。

<施設設備>

- ・夏季には有料待合室の冷房の利きが悪く、利用者から不満の声があがっています。
- ・有料待合室はバリアフリーに対応していません。
- ・施設設備が古く、洋式トイレが少ない、自動水栓、ハンドドライヤーが無い等、現代仕様になっていません。これまで、空調設備の一部補修と暖房用ボイラーの取替は行っているものの、施設全体については、配管、空調、電気系統も含め一度も改修を行っておらず、今後長期に渡り活用していくためには改修を計画的に行っていく必要があります。

(5) 今後の施設の方向性と具体的な対策内容

施設名称	年度	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	維持管理費 (千円)	目標 耐用年数	
斎場	施設の方向性	歴史的建造物である建物を継続使用していくため、2021（令和3）年度に老朽度調査を行い、その結果を踏まえ、火葬炉、設備等を改修、更新し長寿命化を図ります。											1,377	80年
	対策内容	老朽度調査		実施設計		長寿命化改修工事								
	概算金額 (千円)	15,400		36,080	10,043	1,548,873								

弘前市公共施設個別施設計画

2021（令和3）年 3月 策定

2021（令和3）年12月 改訂

2023（令和5）年 4月 改訂

2023（令和5）年12月 変更

2024（令和6）年12月 変更

弘前市（財務部管財課）

〒036-8551 青森県弘前市上白銀町 1-1

TEL 0172-40-7111 FAX 0172-35-1353